

---

令和6年（2024年）

広島市消防局火災統計

広島市消防局予防部予防課調査係

---

# 令和6年（2024年）広島市消防局火災統計

## 目 次

<b>1 火災の現況と最近の動向</b>	1
(1) 令和6年の火災概要	1
(2) 火災の推移と傾向	2
(3) 行政区・受託市町別火災発生状況	2
(4) 行政区・受託市町別出火原因	2
(5) 行政区・受託市町別被害状況	2
<b>2 出火状況</b>	7
(1) 火災件数の構成比率	7
(2) 月別火災発生状況	8
(3) 時間帯別火災発生状況	8
(4) 行政区・受託市町別出火率	9
(5) 初期消火方法別件数	9
<b>3 火災による死者の状況</b>	10
(1) 火災による死者の状況	10
(2) 月別発生状況	11
(3) 死因別発生状況	12
(4) 年齢階層別発生状況	12
(5) 出火原因別発生状況	13
(6) 住宅火災による発生状況	14
<b>4 火災による負傷者の状況</b>	15
(1) 火災による負傷者の状況	15
(2) 負傷原因別発生状況	15
<b>5 出火原因</b>	16
(1) 出火原因別発生状況	16
(2) 行政区・受託市町別出火原因件数	18
(3) 「たばこ」による火災の推移と傾向	19
(4) 「こんろ」による火災の推移と傾向	20
(5) 「放火（疑いを含む）」による火災の推移と傾向	21
(6) 「たき火」による火災の推移と傾向	23
(7) 「電気関係」による火災の推移と傾向	24
<b>6 建物火災の主な出火原因</b>	25
(1) 建物火災の主な出火原因	25
(2) 「こんろ」による火災の発生状況	26
(3) 「たばこ」による火災の発生状況	27
(4) 「ストーブ」による火災の発生状況	28
(5) 「電気関係」による火災の発生状況	29

7	林野火災の主な出火原因	30
8	車両火災の主な出火原因	31
9	その他の火災の主な出火原因	32
10	住宅用火災警報器と住宅火災	33
	(1) 住宅用火災警報器の設置率と住宅火災件数の推移	33
	(2) 住警器奏功事例	33
11	別表（第1～15表）	35

**付属資料 昭和23年以降の火災発生状況**

# 1 火災の現況と最近の動向

## (1) 令和6年の火災概要

令和6年中の広島市消防局管内の火災件数は260件で、前年に比べて11件増加している。

火災種別では、「建物火災」が166件、「林野火災」が4件、「車両火災」が27件、「その他の火災」が63件となっている。

出火原因別にみると、広島市消防局管内の「たばこ」による火災が38件、「放火（疑いを含む）」による火災が34件、「こんろ」による火災が27件、「たき火」による火災が24件、「電気機器」による火災が13件となっている。

被害状況を見ると、建物焼損面積3,173㎡、林野焼損面積34a、損害額3億1,226万円、死者15人、負傷者47人となっている。（第1-1表）

第1-1表 令和6年の火災概要

区分		令和6年			令和5年			増減			
		管内	広島市	受託市町	管内	広島市	受託市町	管内	広島市	受託市町	
火災発生状況 (件)	総数	260	242	18	249	227	22	11	15	▲4	
	建物火災	166	155	11	160	147	13	6	8	▲2	
	住宅火災	87	84	3	81	72	9	6	12	▲6	
	林野火災	4	3	1	2	2	0	2	1	1	
	車両火災	自動車	27	26	1	19	19	0	8	7	1
		鉄道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	船舶火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他の火災	63	58	5	68	59	9	▲5	▲1	▲4		
出火原因 (件)	たばこ	38	34	4	43	41	2	▲5	▲7	2	
	放火（疑いを含む）	34	32	2	16	15	1	18	17	1	
	こんろ	27	26	1	25	23	2	2	3	▲1	
	たき火	24	22	2	23	18	5	1	4	▲3	
	電気機器	13	12	1	13	13	0	0	▲1	1	
	配線器具	11	10	1	7	7	0	4	3	1	
	ストーブ	11	11	0	11	10	1	0	1	▲1	
	マッチ・ライター	6	5	1	4	4	0	2	1	1	
	上記以外	96	90	6	107	96	11	▲11	▲6	▲5	
被害状況	焼損面積	建物（㎡）	3,173	2,975	198	4,815	4,150	665	▲1,642	▲1,175	▲467
		林野（a）	34	8	26	5	5	0	29	3	26
	損害額（千円）	312,260	302,494	9,766	546,052	524,245	21,807	▲233,792	▲221,751	▲12,041	
	焼損棟数（棟）	240	223	17	212	194	18	28	29	▲1	
	り災世帯（世帯）	160	153	7	169	160	9	▲9	▲7	▲2	
	り災人員（人）	325	317	8	304	288	16	21	29	▲8	
	死者（人）	15	15	0	12	11	1	3	4	▲1	
	負傷者（人）	47	46	1	49	47	2	▲2	▲1	▲1	

(備考) 注1 各年の数値は、1月～12月に発生した火災を集計したもの。  
注2 「建物火災」とは、建物又はその収容物が焼損した火災をいう。  
注3 「住宅火災」とは、専用住宅、併用住宅及び共同住宅における火災をいう。  
注4 「車両火災」とは、自動車車両、鉄道車両及びけん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。  
注5 「林野火災」とは、森林、原野又は牧野が焼損した火災をいう。  
注6 「船舶火災」とは、船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。  
注7 「その他の火災」とは、建物火災、車両火災、林野火災及び航空機火災以外の火災（空地、田畑、道路、河川敷、ごみ集積場、屋外物品集積所、軌道敷、電柱類等の火災）をいう。  
注8 死者には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。  
注9 ▲は負数を表す。

## (2) 火災の推移と傾向

過去10年間（平成27年～令和6年）の火災件数をみると、平成27年（305件）から令和2年（229件）にかけておおむね減少傾向であったが、令和3年（247件）から令和6年（260件）にかけては、ゆるやかに増加傾向となっている。

令和6年中の火災件数（260件）は、この10年で最も多かった平成29年中の火災件数（316件）の82.3%となっている。

過去10年間の建物焼損床面積の推移は、3,000～5,000㎡前後ではほぼ横ばいとなっている。

なお、令和3年、令和4年については、一部の大火災により、大幅に増加している（第1-1図）。

火災種別ごとの件数の推移をみると、「建物火災」は、平成27年から令和2年にかけておおむね減少傾向であったが、令和3年から令和6年にかけては、ゆるやかに増加傾向となっている。また、「自動車火災」は平成27年以降、増減しながらもほぼ横ばいとなっている。

火災による損害額の推移は、過去10年間で増減しており、令和2年の2億7003万5千円が最も少なく、令和5年の5億4605万2千円が最も多くなっている。

なお、令和3年、令和4年は一部の大火災により損害額が大幅に増加しているため、除いた数値となっている（第1-2図）。

火災による死者の推移は、平成27年の20人を除き10人前後であり、ほぼ横ばいとなっており、令和6年は15人の死者が発生している（第1-3図）。

## (3) 行政区・受託市町別火災発生状況

令和6年中の火災件数について、行政区別に発生状況をみると、「中区」、「西区」及び「安佐北区」が41件で最も多く、次いで、「安佐南区」が35件となっている。

受託市町では、「熊野町」が7件で最も多く、次いで、「海田町」が5件となっている。（第1-2表）。

## (4) 行政区・受託市町別出火原因

令和6年中の火災件数について、出火原因1位の「たばこ」による火災を行政区別にみると、「西区」「安佐北区」で3件、「安佐南区」で1件増加している。一方で「南区」では7件、「佐伯区」では4件、「安芸区」では3件減少している。

また、出火原因2位の「放火（疑いを含む。）」による火災件数は、「安佐南区」を除いて全ての区で増加している。受託市町では、「熊野町」が1件増加している（第1-3表）。

## (5) 行政区・受託市町別被害状況

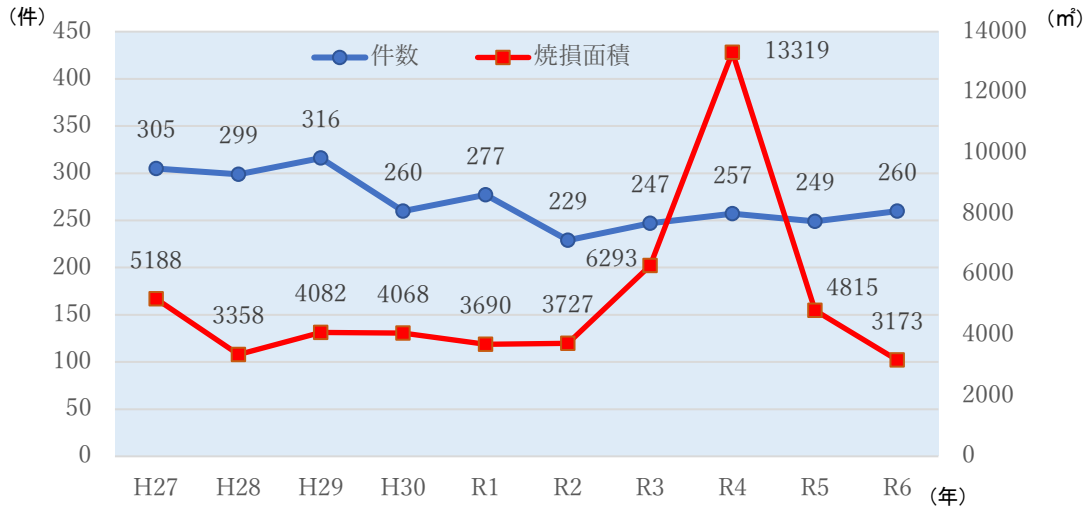
令和6年中の火災について、行政区別に被害状況をみると、損害額は、「安佐北区」が8,626万7千円が最も多く、次いで、「東区」が6,443万9千円となっている。また、焼損床面積は、「安佐北区」が1,488㎡で最も多く、次いで「佐伯区」が343㎡となっている。

受託市町をみると、損害額及び焼損床面積ともに「安芸太田町」が最も多くなっている。

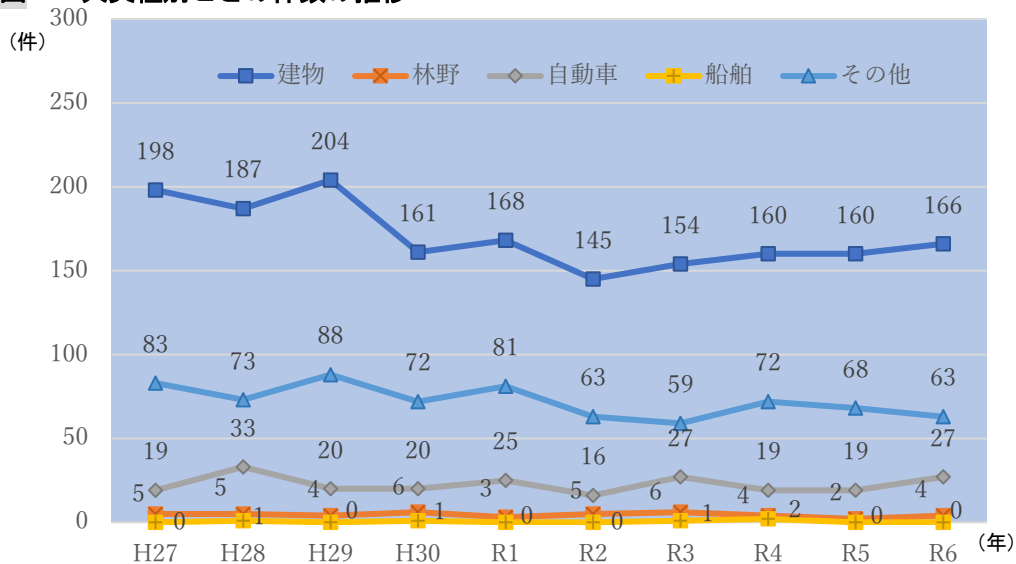
損害額増減を前年と比べると、行政区別では、「東区」が最も増加し、「南区」が最も減少しており、受託市町では、「安芸太田町」が最も増加し、「熊野町」が最も減少している。

また、火災による死者は、行政区別では、「西区」及び「安佐北区」で最も多く4人発生しており、受託市町では、死者は発生していない。（第1-4表）。

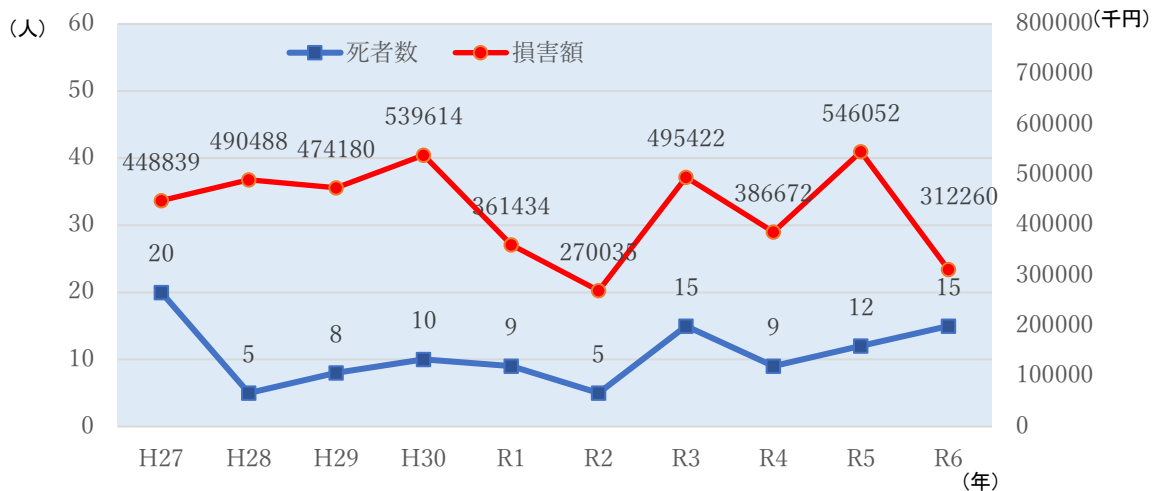
第1-1図 火災件数と焼損床面積の推移



第1-2図 火災種別ごとの件数の推移



第1-3図 火災による死者数と損害額の推移



(備考) 注1 「火災件数」及び「死者数」は左軸を、「焼損床面積」及び「損害額」は右軸を参照。

注2 令和3年、令和4年の「損害額」については、一部の大火災による損害額を除く。

第1-2表 行政区・受託市町別火災発生状況

(件)

区分	総計		建物火災		林野火災		車両火災		船舶火災		その他の火災		
	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年	
広島市	中区	41	40	28	37	0	0	6	2	0	0	7	1
	増減数	1		▲9		0		4		0		6	
	東区	23	12	16	7	0	0	2	1	0	0	5	4
	増減数	11		9		0		1		0		1	
	南区	21	38	17	24	1	0	1	6	0	0	2	8
	増減数	▲17		▲7		1		▲5		0		▲6	
	西区	41	23	32	18	0	0	0	2	0	0	9	3
	増減数	18		14		0		▲2		0		6	
	安佐南区	35	28	20	16	1	1	7	2	0	0	7	9
	増減数	7		4		0		5		0		▲2	
安佐北区	41	33	20	14	1	0	6	4	0	0	14	15	
増減数	8		6		1		2		0		▲1		
安芸区	15	18	4	9	0	0	1	1	0	0	10	8	
増減数	▲3		▲5		0		0		0		2		
佐伯区	25	35	18	22	0	1	3	1	0	0	4	11	
増減数	▲10		▲4		▲1		2		0		▲7		
計	242	227	155	147	3	2	26	19	0	0	58	59	
増減数	15		8		1		7		0		▲1		

受託市町	海田町	5	6	4	3	0	0	0	0	0	0	1	3
	増減数	▲1		1		0		0		0		▲2	
	坂町	2	5	1	3	0	0	0	0	0	0	1	2
	増減数	▲3		▲2		0		0		0		▲1	
	熊野町	7	8	4	4	0	0	1	0	0	0	2	4
	増減数	▲1		0		0		1		0		▲2	
	安芸太田町	2	3	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	増減数	▲1		▲1		0		0		0		0	
	廿日市市吉和	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
	増減数	2		0		1		0		0		1	
計	18	22	11	13	1	0	1	0	0	0	5	9	
増減数	▲4		▲2		1		1		0		▲4		

総計	260	249	166	160	4	2	27	19	0	0	63	68
増減数	11		6		2		8		0		▲5	

第1-3表 行政区・受託市町別出火原因

(件)

区分	総計		たばこ		放火(疑いを含む)		こんろ		たき火		電気機器		左記以外		
	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年	
広島市	中区	41	40	7	7	8	1	10	6	0	0	3	5	13	21
	増減数	1		0		7		4		0		▲2		▲8	
	東区	23	12	2	2	2	1	3	2	1	0	1	2	14	5
	増減数	11		0		1		1		1		▲1		9	
	南区	21	38	2	9	5	3	2	2	0	0	2	1	10	23
	増減数	▲17		▲7		2		0		0		1		▲13	
	西区	41	23	9	6	7	4	6	3	0	0	0	0	19	10
	増減数	18		3		3		3		0		0		9	
	安佐南区	35	28	9	8	1	1	1	4	2	3	3	0	19	12
	増減数	7		1		0		▲3		▲1		3		7	
	安佐北区	41	33	4	1	2	1	2	3	11	7	3	2	19	19
増減数	8		3		1		▲1		4		1		0		
安芸区	15	18	0	3	1	0	0	1	7	2	0	1	7	11	
増減数	▲3		▲3		1		▲1		5		▲1		▲4		
佐伯区	25	35	1	5	6	4	2	2	1	6	0	2	15	16	
増減数	▲10		▲4		2		0		▲5		▲2		▲1		
計	242	227	34	41	32	15	26	23	22	18	12	13	116	117	
増減数	15		▲7		17		3		4		▲1		▲1		

受託市町	海田町	5	6	2	1	1	1	0	1	1	0	0	0	1	3
	増減数	▲1		1		0		▲1		1		0		▲2	
	坂町	2	5	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	3
	増減数	▲3		▲1		0		0		▲1		1		▲2	
	熊野町	7	8	0	0	1	0	1	1	0	3	0	0	5	4
	増減数	▲1		0		1		0		▲3		0		1	
	安芸太田町	2	3	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
増減数	▲1		1		0		0		▲1		0		▲1		
廿日市市吉和	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
増減数	2		1		0		0		1		0		0		
計	18	22	4	2	2	1	1	2	2	5	1	0	8	12	
増減数	▲4		2		1		▲1		▲3		1		▲4		

総計	260	249	38	43	34	16	27	25	24	23	13	13	124	129
増減数	11		▲5		18		2		1		0		▲5	



第1-4表 行政区・受託市町別被害状況

区分	損害額 (千円)		焼損床面積 (㎡)		焼損表面積 (㎡)		林野焼損面積 (a)		死者 (人)		負傷者 (人)		
	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年	
広島市	中区	38,625	79,174	181	142	129	358	0	0	0	3	9	7
	増減数	▲40,549		39		▲229		0		▲3		2	
	東区	64,439	599	314	1	65	3	0	0	1	0	2	3
	増減数	63,840		313		62		0		1		▲1	
	南区	8,120	204,114	104	1,061	6	494	0	0	0	2	2	15
	増減数	▲195,994		▲957		▲488		0		▲2		▲13	
	西区	46,072	32,076	295	101	56	71	0	0	4	1	11	5
	増減数	13,996		194		▲15		0		3		6	
	安佐南区	17,695	14,871	159	340	122	61	2	5	3	0	2	4
	増減数	2,824		▲181		61		▲3		3		▲2	
	安佐北区	86,267	37,829	1,488	551	93	109	6	0	4	0	7	5
増減数	48,438		937		▲16		6		4		2		
安芸区	15,016	74,945	91	1,341	178	45	0	0	1	2	2	3	
増減数	▲59,929		▲1,250		133		0		▲1		▲1		
佐伯区	26,260	80,637	343	613	149	148	0	0	2	3	11	5	
増減数	▲54,377		▲270		1		0		▲1		6		
計	302,494	524,245	2,975	4,150	798	1,289	8	5	15	11	46	47	
増減数	▲221,751		▲1,175		▲491		3		4		▲1		

受託市町	海田町	51	103	19	7	8	0	0	0	0	0	0	1
	増減数	▲52		12		8		0		0		▲1	
	坂町	27	6,346	0	233	0	4	0	0	0	1	0	0
	増減数	▲6,319		▲233		▲4		0		▲1		0	
	熊野町	2,286	15,326	12	392	71	5	0	0	0	0	1	1
	増減数	▲13,040		▲380		66		0		0		0	
	安芸太田町	7,402	32	167	33	1	1	1	0	0	0	0	0
増減数	7,370		134		0		1		0		0		
廿日市市吉和	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0	
増減数	0		0		0		25		0		0		
計	9,766	21,807	198	665	80	10	26	0	0	1	1	2	
増減数	▲12,041		▲467		70		26		▲1		▲1		

総計	312,260	546,052	3,173	4,815	878	1,299	34	5	15	12	47	49
増減数	▲233,792		▲1,642		▲421		29		3		▲2	

## 2 出火状況

### (1) 火災件数の構成比率

令和6年中の火災件数について、その構成比をみると、建物火災が全火災の63.8%で最も高い比率を占めている（第2-1表）。

建物火災のうち住宅火災件数を行政区別にみると、「南区」が8件増加する一方、その他の区では横ばいもしくは減少している。受託市町別では、「海田町」、「熊野町」、「坂町」で増加している（第2-2表）。

第2-1表 火災件数の構成比率

火災種別	令和6年		令和5年	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
建物火災	166(87)	63.8%	160(81)	64.3%
林野火災	4	1.5%	2	0.8%
車両火災	27	10.4%	19	7.6%
船舶火災	0	0	0	0
その他の火災	63	24.2%	68	27.3%
総計	260	100.0%	249	100.0%

(備考) 注1 ( )内は住宅火災件数で、内数である。

注2 構成比総計欄の値が四捨五入により各値の合計と一致しない場合がある。

第2-2表 行政区・受託市町別の住宅火災件数

(件)

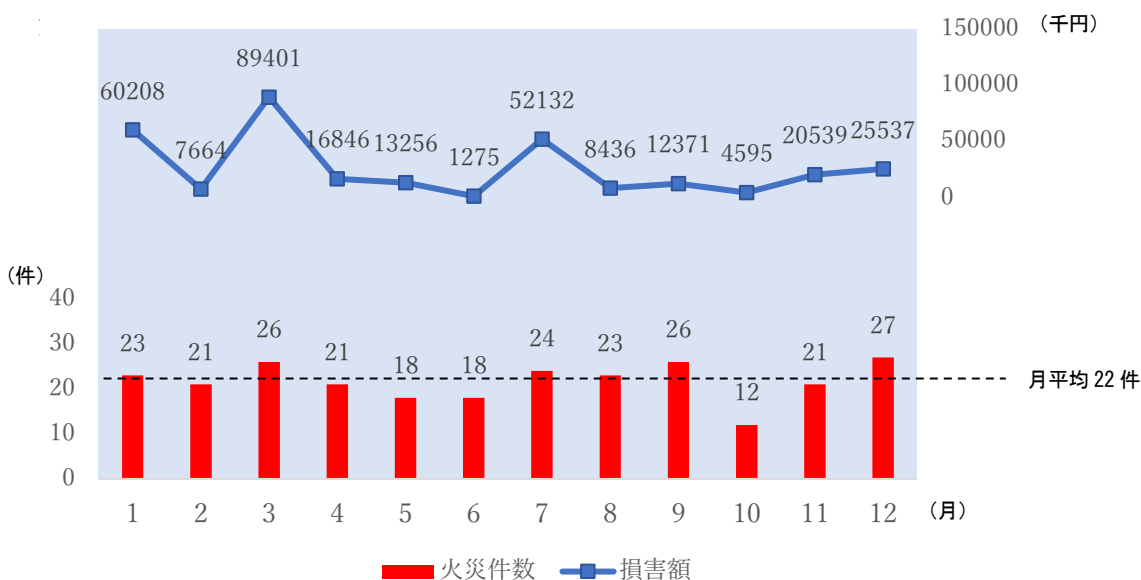
区分		令和6年	令和5年	増減数
広島市	中区	11	13	▲2
	東区	11	3	8
	南区	6	15	▲9
	西区	19	9	10
	安佐南区	9	7	2
	安佐北区	14	9	5
	安芸区	3	5	▲2
	佐伯区	11	11	0
広島市 計		84	72	12
受託市町	安芸郡海田町	0	3	▲3
	安芸郡坂町	0	2	▲2
	安芸郡熊野町	1	3	▲2
	安芸太田町	2	1	1
	廿日市市吉和	0	0	0
受託市町 計		3	9	▲6
総計		87	81	6

## (2) 月別火災発生状況

令和6年中の月別火災発生状況をみると、ひと月当たりの平均は22件で、「12月」が27件で最も多く、次いで、「3月」と「9月」が26件となっている。

損害額をみると、「3月」が最も多く、「6月」が最も少ない（第2-1図）。

第2-1図 令和6年月別火災発生状況



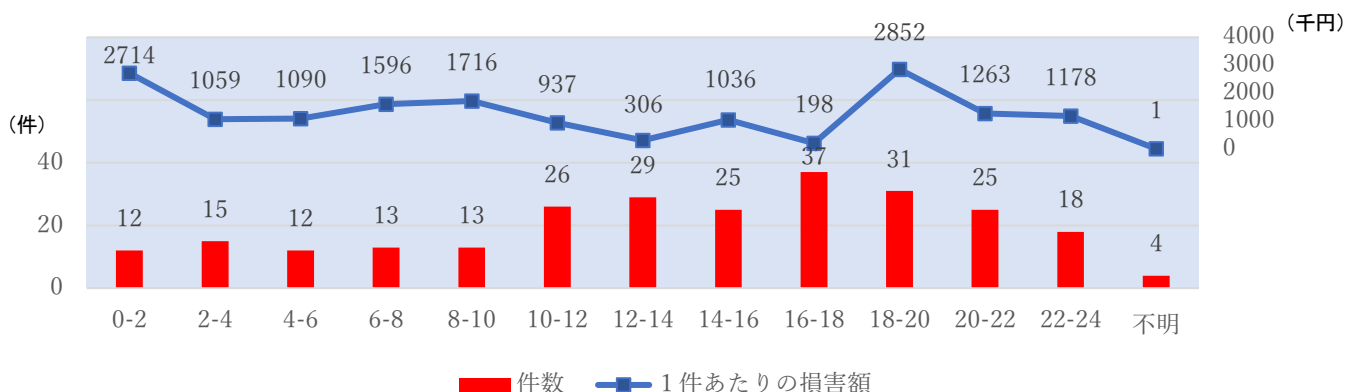
(備考) 注 「火災件数」は左軸を、「損害額」は右軸を参照。

## (3) 時間帯別火災発生状況

令和6年中の時間帯別火災発生状況をみると、「16時から18時」が37件で最も多く、「0時から2時」「4時から6時」が12件で最も少ない。

1件当たりの損害額をみると、「18時から20時」が最も多く、次いで「0時から2時」が多くなっている（第2-2図）。

第2-2図 令和6年時間帯別火災発生状況



(備考) 注1 時間帯の「0-2」は、出火時刻が0時00分～1時59分までの間であることを示す。

注2 1件当たりの損害額については、小数点第2位を四捨五入。

注3 「火災件数」は左軸を、「1件当たりの損害額」は右軸を参照。

注4 一部の大火災により発生した損害額は除く。

#### (4) 行政区・受託市町別出火率

令和6年中の出火率は、広島市消防局管内で2.1件/万人で、広島市では2.1件/万人、受託市町では2.5件/万人となっている。

行政区別にみると、「中区」及び「安佐北区」が3.0件/万人で最も高く、「安佐南区」が1.4件/万人で最も低く、受託市町別にみると、「廿日市市吉和」が35.4件/万人で最も高い（第2-3表）。

**第2-3表 令和6年行政区・受託市町別出火率**

区分		出火率（件/万人）	火災件数（件）	人口（人）
広島市	中区	3.0	41	136,475
	東区	2.0	23	117,355
	南区	1.5	21	140,592
	西区	2.2	41	185,233
	安佐南区	1.4	35	242,486
	安佐北区	3.0	41	137,665
	安芸区	2.0	15	75,771
	佐伯区	1.8	25	139,750
広島市 計		2.1	242	1,175,327
受託市町	海田町	1.6	5	30,788
	坂町	1.6	2	12,551
	熊野町	3.0	7	23,472
	安芸太田町	3.7	2	5,459
	廿日市市吉和	35.4	2	565
受託市町 計		2.5	18	72,835
総計		2.1	260	1,248,162

（備考） 注1 出火率とは、人口1万人当たりの火災件数をいう。注2 人口は、令和6年3月31日時点の住民基本台帳による。

#### (5) 初期消火方法別件数

令和6年中の初期消火方法をみると、「水道等の水をかけた」が80件で最も多く、次いで、「粉末消火器」が56件となっている。一方で、初期消火を行っていない件数は86件となっている。

令和6年中の火災のうち、初期消火に成功したのは119件となり、初期消火の成功率は68.4%となっている（第2-4表）。

**第2-4表 令和6年初期消火方法別件数及び成功率**

区分	成功（件）	失敗（件）	総計（件）	成功率（%）
水道等の水をかけた	54	26	80	67.5%
粉末消火器	41	15	56	73.2%
寝具、衣類等をかけた	8	3	11	72.7%
もみ消した	7	6	13	53.8%
スプリンクラー設備	1	0	1	100.0%
上記以外	8	5	13	61.5%
総計	119	55	174	68.4%
初期消火なし			86	

（備考） 注1 「成功率」は、成功件数を初期消火実施総数で除すことで算出したもの。

### 3 火災による死者の状況

#### (1) 火災による死者の状況

令和6年中の火災による死者は15人で、前年に比べて3人増加している。

死者15人のうち、放火自殺者を除いた住宅火災による死者は13人で、このうち8人が65歳以上の高齢者となっている（第3-1表）。

過去10年間の死者数をみると、平成27年、令和3年、令和6年を除き、10人前後で推移している（第3-1図）。

火災100件当たりの死者数をみると、火災件数は平成30年以降ほぼ横ばいであるのに対し、死者数は増減を繰り返しながら平成28年までは減少傾向にあったが、その後増加傾向となっている（第3-2図）。

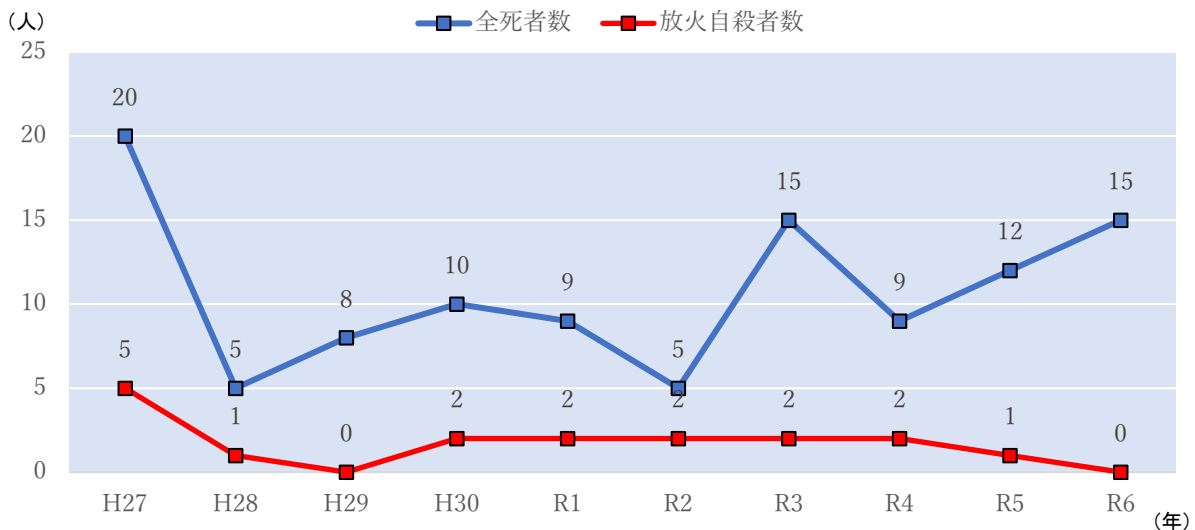
第3-1表 火災による死者発生状況

(人)

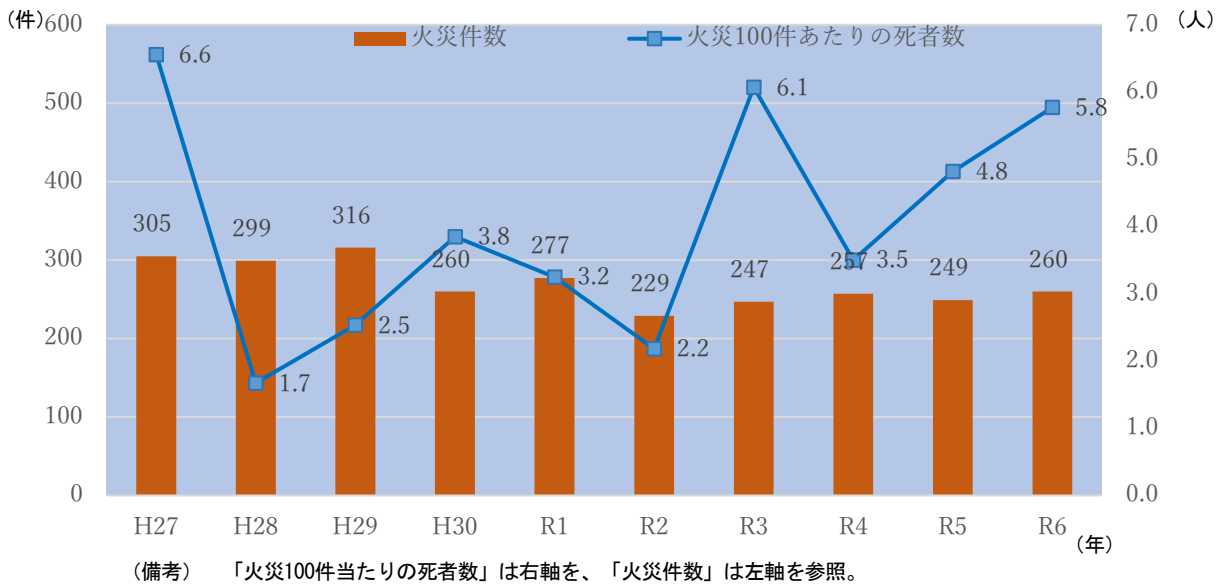
区分	65歳未満		65歳以上		総計		前年比
	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年	
建物火災	5(0)	5(1)	8(0)	7(0)	13(0)	12(1)	1(▲1)
住宅火災	5(0)	4(1)	8(0)	7(0)	13(0)	11(1)	2(▲1)
その他火災	0(0)	0(0)	2(0)	0(0)	2(0)	0(0)	2(0)
総計	5(0)	5(1)	10(0)	7(0)	15(0)	12(1)	3(▲1)

(備考) ( )は放火自殺者数で、内数である。

第3-1図 火災による死者数の推移



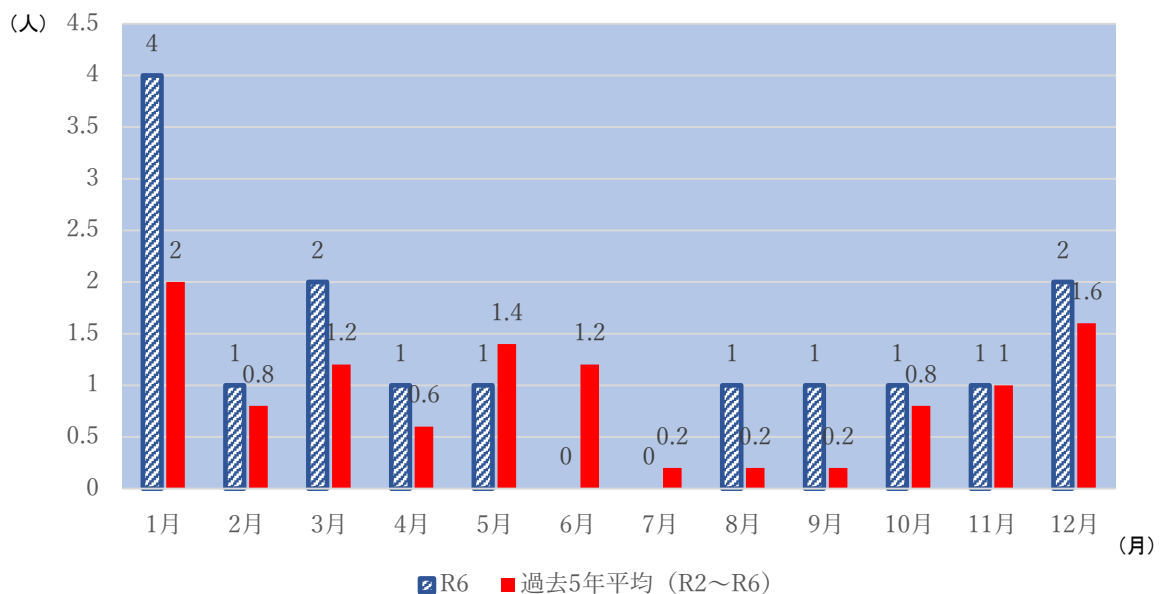
第3-2図 火災100件当たりの死者数の推移



(2) 月別発生状況

令和6年中の火災による死者（15人）を月別にみると、「1月」が4人と最も多く発生している。また、過去5年間（令和2年～令和6年）の平均死者発生状況をみると、同様に「1月」が最も多く発生している（第3-3図）。

第3-3図 過去5年間の月別死者発生状況（令和2年～令和6年）



### (3) 死因別発生状況

過去5年間の火災による死者(56人)を死因別にみると、「一酸化炭素中毒死」が27人で最も多く、次いで、「火傷死」が12人となっている(第3-2表)。

第3-2表 過去5年間の火災による死因別死者発生状況(令和2年~令和6年) (人)

区分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	過去5年間 計
一酸化炭素中毒死	2	7	2	7	9	27
火傷死	0	3	3	1	5	12
自殺	2	2	2	1	0	7
焼死	1	2	2	3	1	9
不明	0	1	0	0	0	1
総計	5	15	9	12	15	56

(備考) 注1 「火傷死」とは、煙(00)による影響が少なく、火災による熱傷に起因し死亡したもの。

注2 「焼死」とは、煙が作用したことにより、火傷を受け死亡したもの。

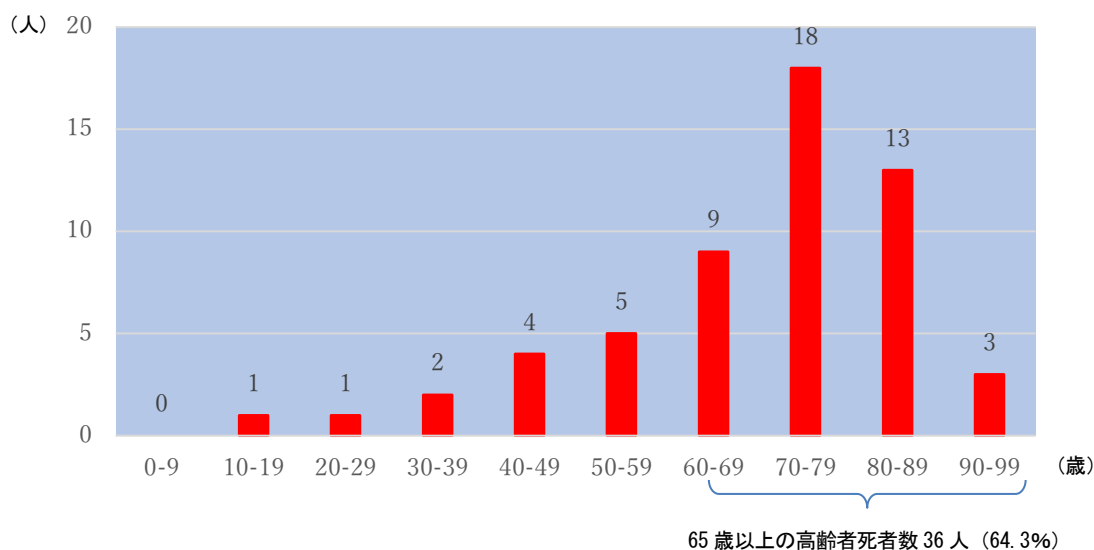
注3 「不明」とは、死因の特定に至らなかったもの。

### (4) 年齢階層別発生状況

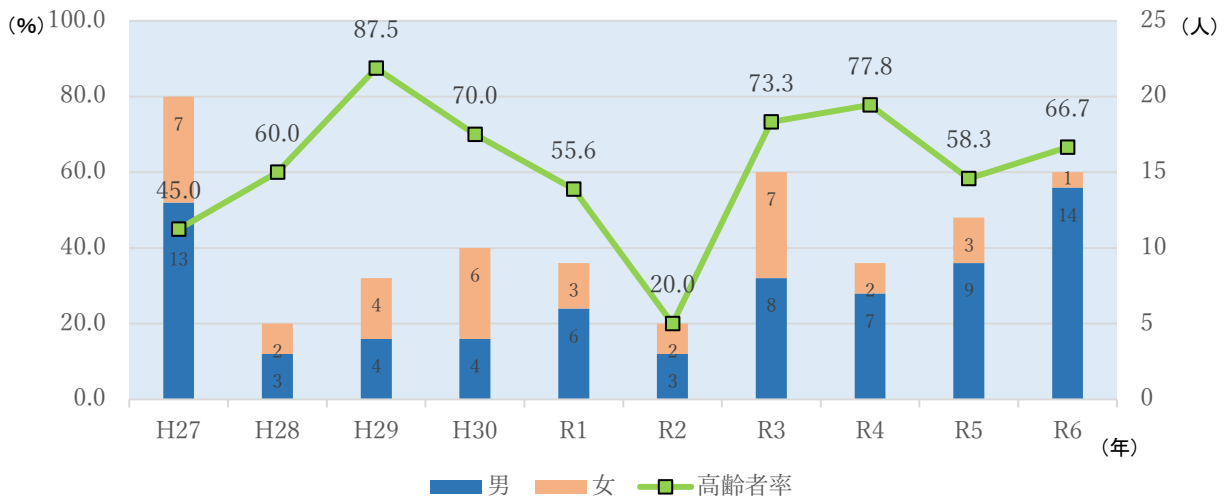
過去5年間の火災による死者(56人)を年齢別にみると、65歳以上の高齢者が36人で64.3%を占めている(第3-4図)。

過去10年間の火災による死者における65歳以上の高齢者の割合の推移をみると、平成27年と令和2年を除き、各年とも高齢者の割合が5割以上と高く、また、男女比では、年によって違いはあるものの、全体数でみると、男性71人、女性37人であり、男性の死者が明らかに多い(第3-5図)。

第3-4図 過去5年間の火災による年齢階層別死者発生状況(令和2年~令和6年)



第3-5図 男女別死者発生状況及び高齢者率（65歳以上）



(備考) 「男性」及び「女性」の死者数は右軸を、「高齢者率」は左軸を参照。

(5) 出火原因別発生状況

過去5年間の火災による死者（56人）を出火原因別にみると、「放火（疑いを含む）」及び「たばこ」が9件となっており、次いで、「ストーブ」が8件となっている（第3-3表）。

第3-3表 過去5年間の出火原因別死者発生状況（令和2年～令和6年）

(件)

区分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	過去5年間 計
放火（疑いを含む。）	2	2	2	1	2	9
たばこ	0	3	0	3	3	9
ストーブ	0	1	1	0	6	8
配線器具	0	0	1	2	0	3
こんろ	0	1	1	1	0	3
電灯・電話等の配線	0	1	0	1	0	2
灯火	0	1	0	0	0	1
その他	0	0	0	1	2	3
不明・調査中	3	6	4	3	2	18
総計	5	15	9	12	15	56

(備考) 「放火（疑いを含む）」には、放火自殺者を含む。

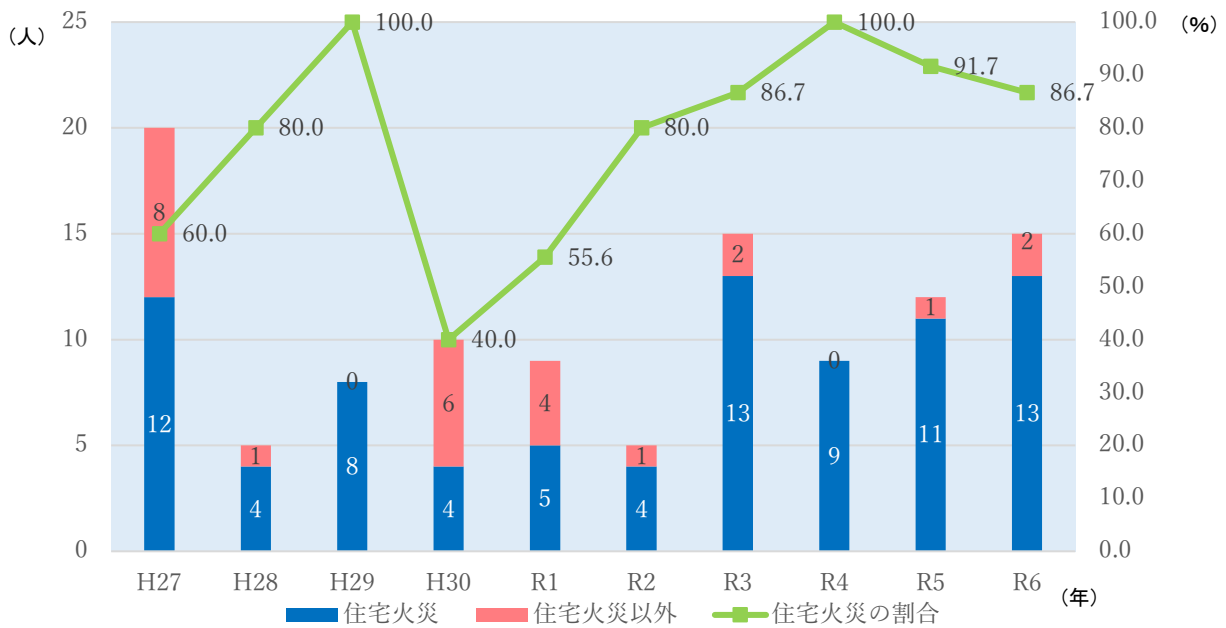


### (6) 住宅火災による発生状況

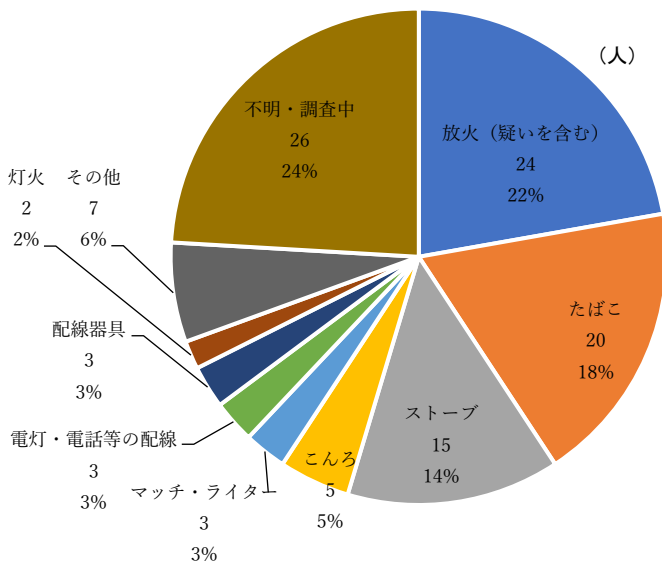
過去10年間の火災による死者（108人）のうち、「住宅火災」によるものは83人となり、住宅火災の割合をみると、平成30年には4割まで減少しているが、それ以降増加傾向で8割以上となっている（第3-6図）。

過去10年間の住宅火災による死者（83人）を出火原因別にみると、「放火（疑いを含む）」による死者が24人で最も多く、次いで「たばこ」が20人、「ストーブ」が15人となっている。また、一人暮らしの割合をみると、約5割が一人暮らしとなっている（第3-7・8図）。

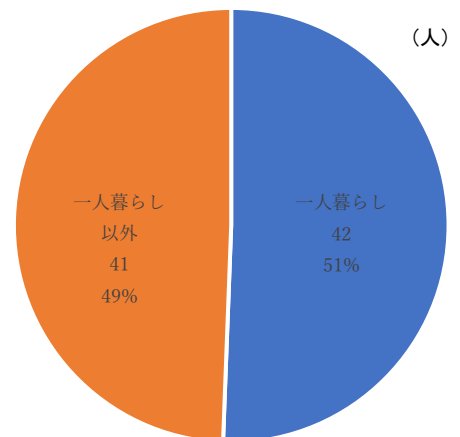
第3-6図 建物火災における住宅火災の件数及び住宅火災の割合



第3-7図 住宅火災における出火原因別死者発生状況 (平成27年～令和6年)



第3-8図 住宅火災死者における一人暮らしの割合 (平成27年～令和6年)



(備考) 注1 「放火（疑いを含む）」には、放火自殺者を含む。  
注2 「その他」には、たき火、火入れ、風呂かまど等を含む。

## 4 火災による負傷者の状況

### (1) 火災による負傷者の状況

令和6年の負傷者は47人で、前年の49人に比べて2人減少している。

火災種別をみると「建物火災」による負傷者が34人で最も多く、全体の72.3%を占めている。

また、令和6年中の負傷者(47人)のうち、65歳以上の高齢者は18人であり、全体の38.3%となっている(第4-1表)。

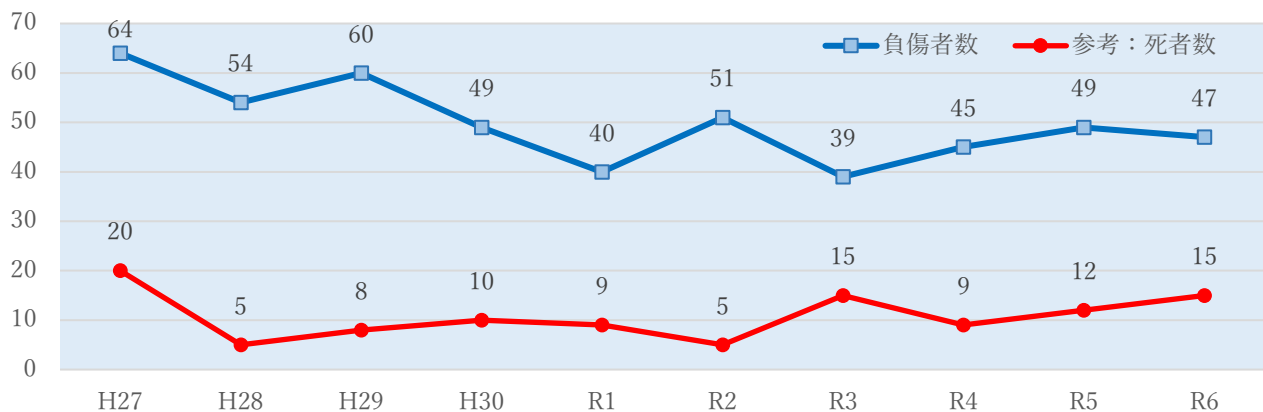
第4-1表 火災による負傷者発生状況

(人)

区分	65歳未満		65歳以上		総計		増減数
	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年	
建物火災	17	25	17	18	34	43	▲9
車両火災	1	0	0	1	1	1	0
その他の火災	11	1	1	4	12	5	7
総計	29	26	18	23	47	49	▲2

第4-1図 火災による負傷者数の推移

(人)



### (2) 負傷原因別発生状況

令和6年中の火災による負傷者(47人)を負傷原因別にみると、「火傷・熱傷」が36人で最も多く、次いで、「一酸化炭素中毒」が3人となっている。

また、行動別にみると、「消火中」が12人で最も多く、次いで、「避難中」が7人となっている(第4-2表)。

第4-2表 令和6年負傷原因別・行動別負傷者発生状況

(人)

行動区分 負傷原因	消火中	避難中	作業中	炊事中	就寝中	その他	総計
火傷・熱傷	11	5	4	3	1	12	36
一酸化炭素中毒	1	1	0	0	0	1	3
打撲・骨折	0	1	0	0	0	1	2
その他	0	0	0	0	0	4	4
不明	0	0	0	0	0	2	2
総計	12	7	4	3	1	20	47

## 5 出火原因

### (1) 出火原因別発生状況

令和6年中の火災（260件）を出火原因別にみると、「たばこ」による火災が38件、次いで、「放火（疑いを含む）」による火災が34件、「こんろ」による火災が27件、「たき火」による火災が24件、「電気機器」による火災が13件となっている（第5-1表）。

また、過去10年間の火災件数の推移をみると、「たばこ」、「こんろ」及び「放火（疑いを含む）」が減少傾向である一方、「たき火」はほぼ横ばいとなっている（第5-1図）。

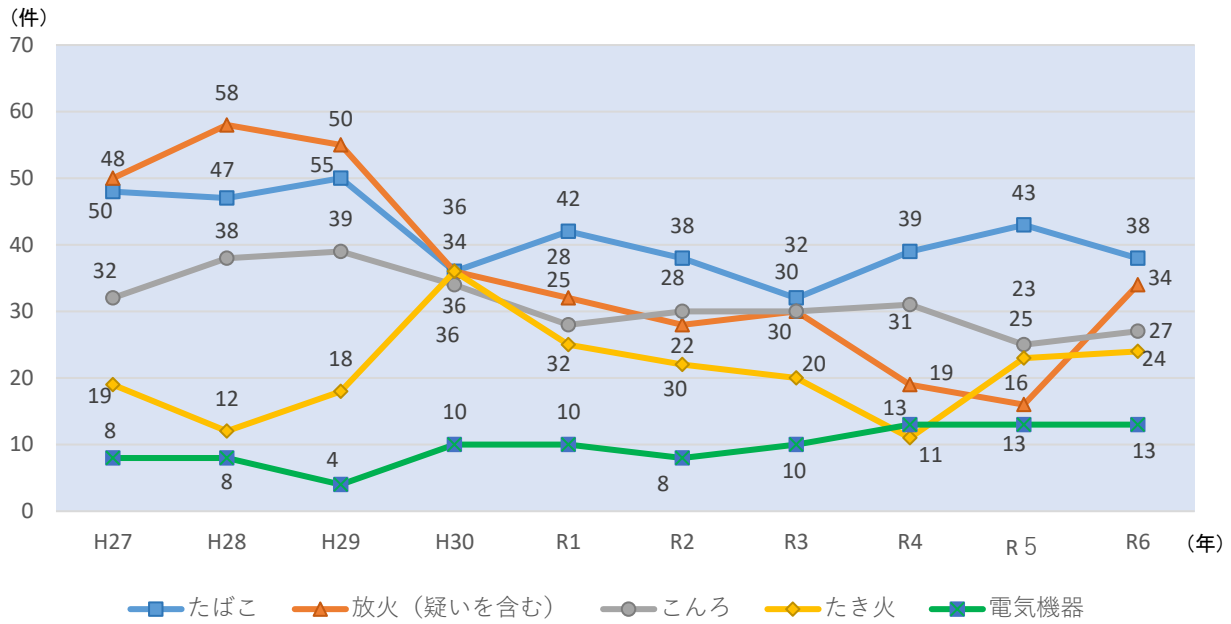
月別火災件数をみると、「たき火」及び「たばこ」は2月及び3月、「放火」は5月に多く、顕著に季節差が生じているのに対し、「こんろ」及び「電気機器」は季節に偏りが無い（第5-2図）。

第5-1表 令和6年出火原因別の火災件数

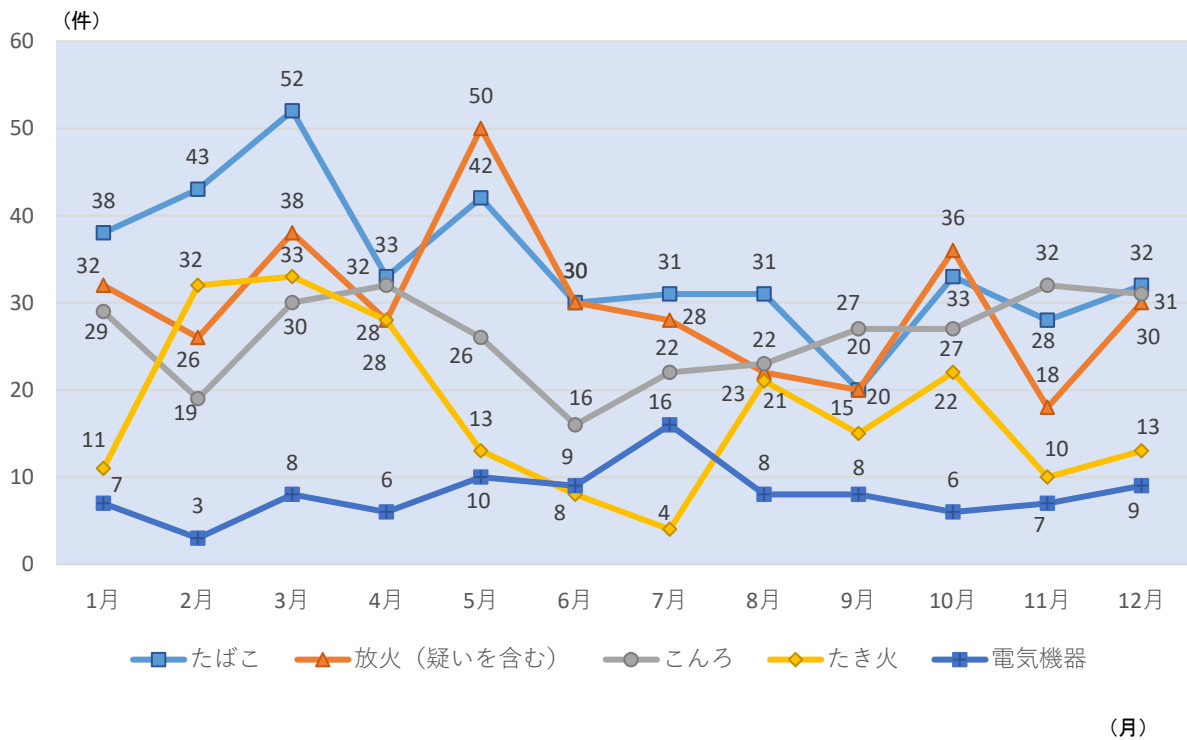
	件数（件）	構成比（％）	前年比（件）
たばこ	38	14.6%	▲5
放火（疑いを含む）	34	13.1%	18
こんろ	27	10.4%	2
たき火	24	9.2%	1
電気機器	13	5.0%	0
ストーブ	11	4.2%	0
配線器具	11	4.2%	4
マッチ・ライター	6	2.3%	2
電灯・電話等の配線	5	1.9%	▲4
排気管	4	1.5%	▲1
炉	4	1.5%	4
灯火	2	0.8%	1
取灰	2	0.8%	1
衝突の火花	2	0.8%	2
風呂かまど	2	0.8%	0
溶接機・切断機	2	0.8%	▲3
電気装置	1	0.4%	▲2
火入れ	1	0.4%	▲3
内燃機関	1	0.4%	▲3
かまど	0	0%	▲1
煙突・煙道	0	0%	▲1
焼却炉	0	0%	▲1
その他	50	19.2%	▲1
不明・調査中	20	7.7%	1
総計	260	100%	11

（備考） 構成比総計欄の値が四捨五入により各値の合計と一致しない場合がある。

第5-1図 出火原因（上位5位）の火災件数の推移



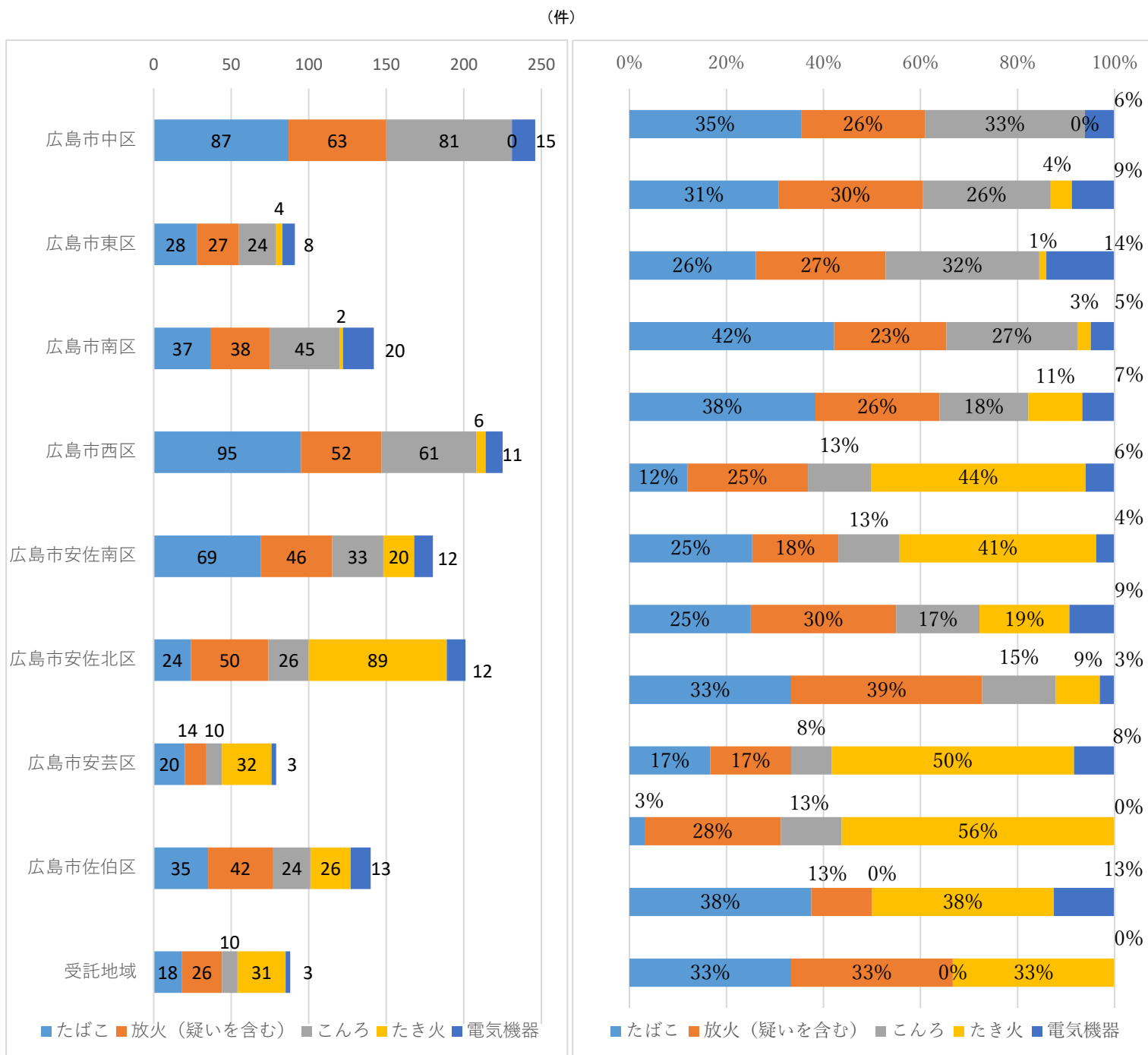
第5-2図 出火原因（上位5位）の月別火災発生件数（平成27年～令和6年）



## (2) 行政区・受託市町別出火原因件数

過去10年間の行政区・受託市町別出火原因をみると、多くの地域で「たばこ」の割合は30%前後、となっている。一方で、「こんろ」及び「たき火」の割合は、地域によって大きく差が生じている（第5-3図）。

第5-3図 行政区・受託市町別出火原因件数及び割合（平成27年～令和6年）



※出火原因別件数の割合合計が、四捨五入により100%にならない場合がある。

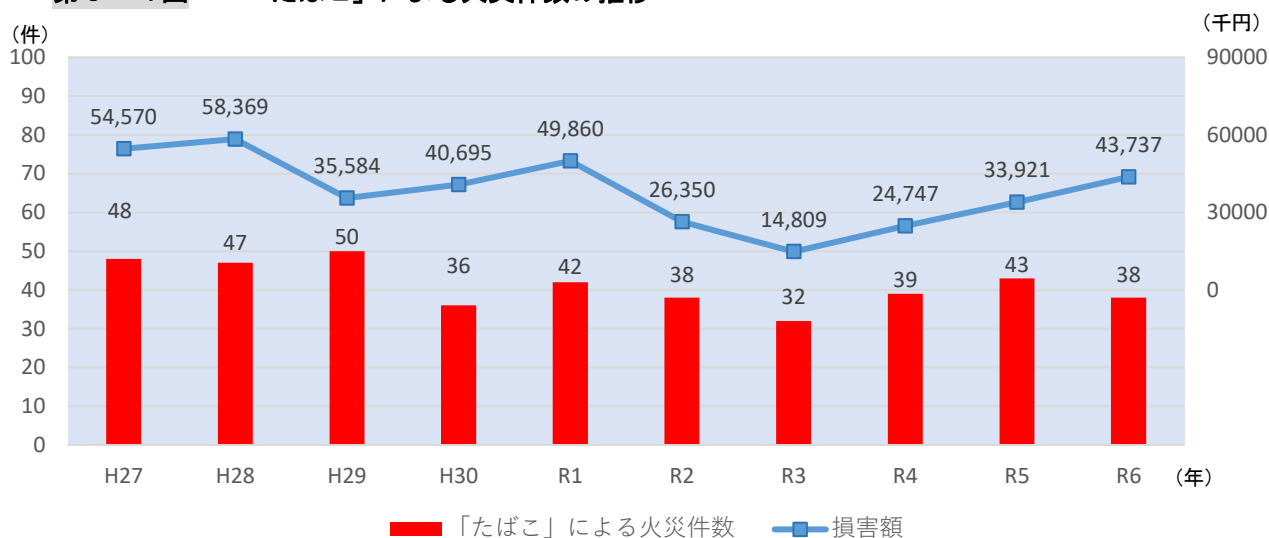
### (3) 「たばこ」による火災の推移と傾向

令和6年中の「たばこ」による火災は38件で、全火災（260件）の14.6%を占めている。

過去10年間の火災件数をみると、平成29年の50件が最多であり、減少傾向にあるものの、年によって増減を繰り返しているのが現状である。また、損害額は平成28年が5,836万9千円と最も高く、それ以降は緩やかな減少傾向となっていたが、令和3年以降は増加している（第5-4図）。

令和6年中の「たばこ」による火災の経過別火災件数をみると、火種の残った吸い殻をごみ箱やビニール袋に捨てる等の「不適當なところに捨てる」が26件（68.4%）と約7割を占めている（第5-2表）。

第5-4図 「たばこ」による火災件数の推移



(備考) 「火災件数」は左軸を、「損害額」は右軸を参照。

第5-2表 「たばこ」による火災の経過別件数及び損害状況等

区分	たばこ		
	令和6年	令和5年	増減数
火災件数 (件)	38	43	▲5
建物火災	24	25	▲1
林野	1	0	1
自動車火災	1	3	▲2
その他の火災	12	15	▲3
経過別火災件数 (件)			
不適當なところに捨てる	26	33	▲7
火源が転倒落下する	10	4	6
不適當なところに置く	1	4	▲3
放置する	1	0	1
可燃物が火源の上に転倒落下する	0	1	▲1
残り火の処置が不充分	0	1	▲1
建物焼損床面積 (㎡)	300	344	▲44
建物焼損表面積 (㎡)	150	293	▲143
損害額 (千円)	43,737	33,921	9,816

#### (4) 「こんろ」による火災の推移と傾向

令和6年中の「こんろ」による火災は27件で、全火災（260件）の10.4%を占めている。過去10年間の火災件数をみると、39件であった平成29年から減少しているものの、30件前後でほぼ横ばい状態となっている。損害額は平成28年が6,701万円と最も高く、その後減少し、横ばい状態であったが、令和4年に増加し、その後、減少傾向にある（第5-5図）。

令和6年中の「こんろ」による火災の経過別火災件数をみると、「放置する」が14件と約5割を占めており、次いで、「管理不十分」が3件となっている（第5-3表）。

第5-5図 「こんろ」による火災件数の推移



(備考) 「火災件数」は左軸を、「損害額」は右軸を参照。

第5-3表 「こんろ」による火災の経過別件数及び損害状況等

区分	こんろ		
	令和6年	令和5年	増減数
火災件数 (件)	27	25	2
建物火災	27	25	2
経過別火災件数 (件)			
放置する	14	8	6
管理不十分	3	0	3
可燃物が動いて火源に触れる	2	3	▲1
考え違いにより使用を誤る	2	1	1
忘れる	2	1	1
本来の用途以外の不敵な用に用いる	2	0	2
接炎する	1	4	▲3
引火する	1	2	▲1
建物焼損床面積 (㎡)	20	36	▲16
建物焼損表面積 (㎡)	17	115	▲98
損害額 (千円)	3,639	6,494	▲2,855

### (5) 「放火（疑いを含む）」による火災の推移と傾向

令和6年中の「放火（疑いを含む）」による火災は34件で、全火災（260件）の13%を占めている。火災種別をみると、「建物火災」が14件増加し、「車両火災」及び「その他の火災」が2件増加している（第5-4表）。

過去10年間の火災件数をみると、50件台あった平成29年以降減少傾向となっており、損害額についても平成27年以降横ばいとなっている（第5-6図）。

過去5年間の火災件数を行政区別にみると、「西区」及び「佐伯区」が20件を超えており、次いで、「中区」が19件となっている（第5-5表）。

第5-4表 「放火（疑いを含む）」による火災の損害状況等

区分	放火（疑いを含む）		
	令和6年	令和5年	増減数
火災件数（件）	34	16	18
建物火災	19	5	14
車両火災	2	0	2
その他の火災	13	11	2
建物焼損床面積（㎡）	672	80	592
建物焼損表面積（㎡）	103	1	102
損害額（千円）	38,235	4,802	33,433

第5-6図 「放火（疑いを含む）」による火災件数の推移





第5-5表 「放火（疑いを含む）」による火災の行政区別発生件数

(件)

区分		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	過去5年間計	年平均
広島市	中区	5	2	3	1	8	19	3.8
	東区	1	3	1	1	2	8	1.6
	南区	5	5	0	3	5	18	3.6
	西区	4	2	5	4	7	22	4.4
	安佐南区	2	4	3	1	1	11	2.2
	安佐北区	4	3	2	1	2	12	2.4
	安芸区	2	3	1	0	1	7	1.4
	佐伯区	3	4	3	4	6	20	4
広島市 計		26	26	18	15	32	117	23.4
受託市町	海田町	1	4	1	1	1	8	1.6
	坂町	0	0	0	0	0	0	0
	熊野町	1	0	0	0	1	2	0.4
	安芸太田町	0	0	0	0	0	0	0
	廿日市市吉和	0	0	0	0	0	0	0
受託市町 計		2	4	1	1	2	10	2
総計		28	30	19	16	34	127	25.4

## (6) 「たき火」による火災の推移と傾向

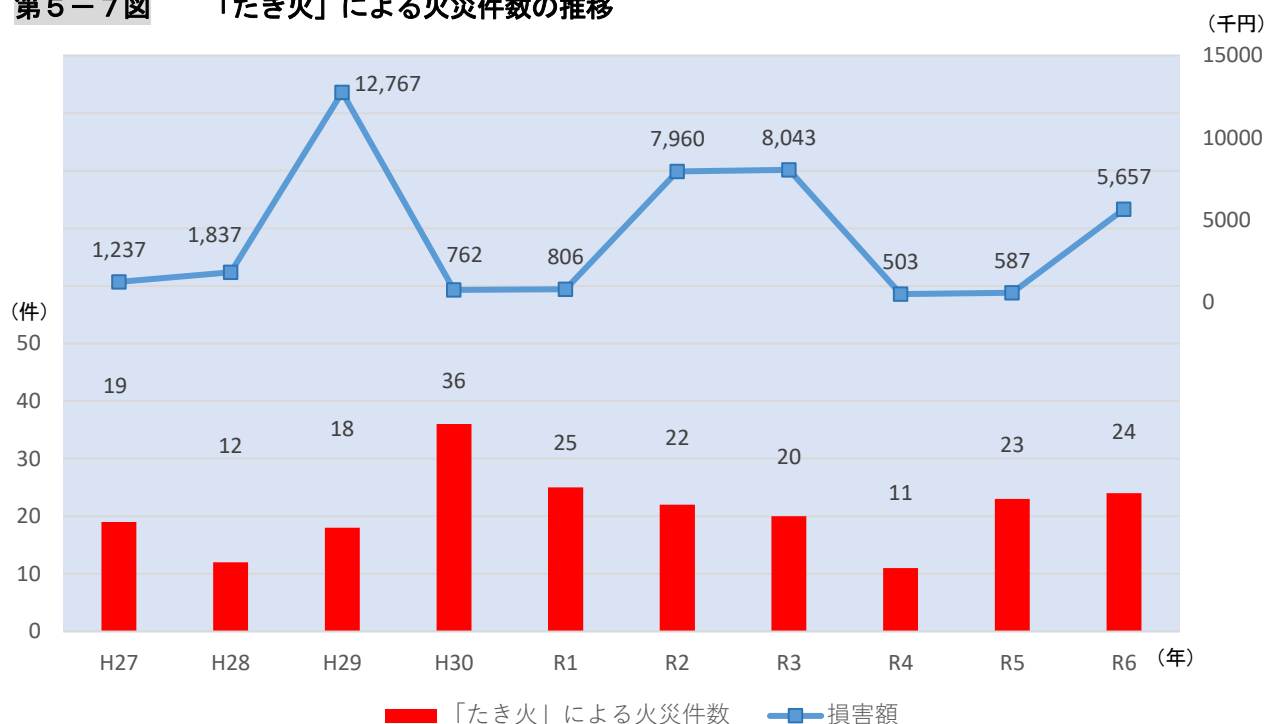
令和6年中の「たき火」による火災は24件で、全火災（260件）の9.2%を占めている。

過去10年間の火災件数をみると、平成30年を除いて、20件前後を推移しており令和4年は最も少なく、11件となっている。

損害状況については、平成29年、令和2年及び令和3年に増加しているが、火災件数との明確な相関は認められない（第5-7図）。

火災種別ごとの内訳では、建物火災、林野火災及びその他の火災が増加している（第5-6表）。

第5-7図 「たき火」による火災件数の推移



(備考) 「火災件数」は左軸を、「損害額」は右軸を参照。

第5-6表 「たき火」による火災の損害状況等

区分	たき火		
	令和6年	令和5年	増減数
火災件数 (件)	24	23	1
建物火災	6	3	3
林野火災	3	1	2
枯草火災	9	14	▲5
その他の火災	6	5	1
建物焼損床面積 (㎡)	158	165	▲7
建物焼損表面積 (㎡)	30	1	29
損害額 (千円)	5,657	587	5,070

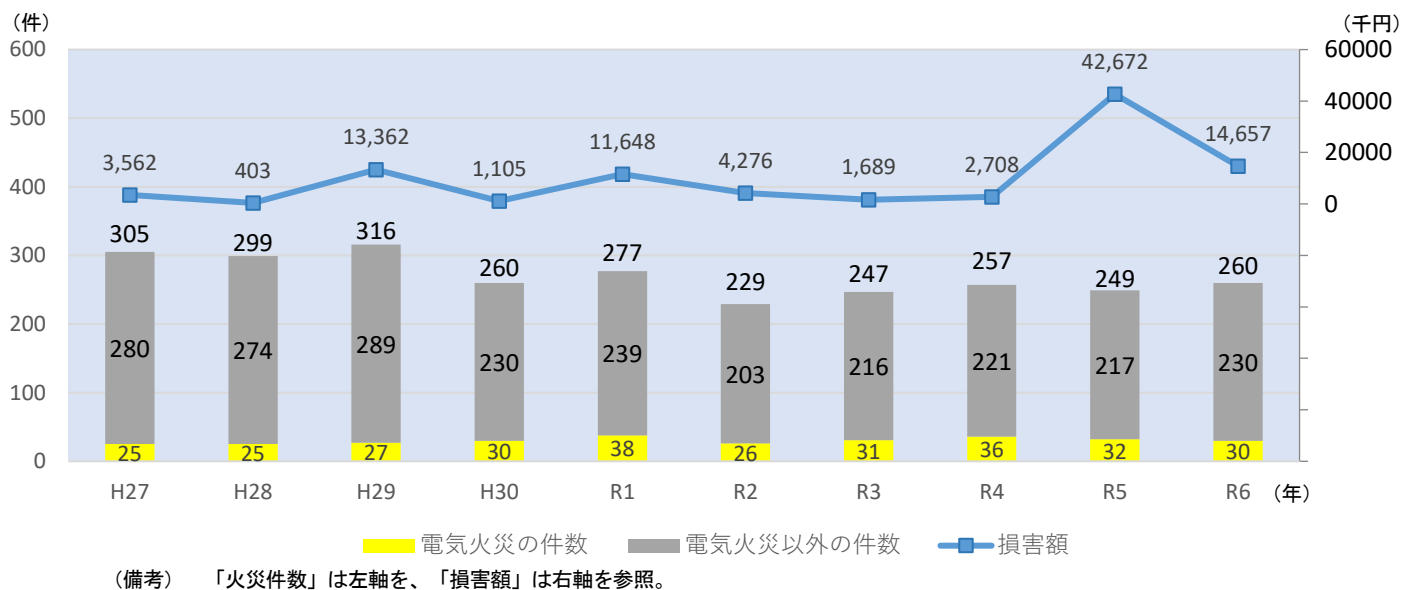
(7) 「電気関係」(電気装置、電灯・電話等の配線、配線器具)による火災の推移と傾向

令和6年中の「電気関係」による火災は30件で、全火災(260件)の11.5%を占めている。過去10年間の火災件数をみると、平成30年以降、30件前後で推移している。

損害状況については、令和5年が急激に高くなっているものの、火災件数との明確な相関は認められない(第5-8図)。

火災種別ごとの内訳では、建物火災の件数は2件減少しているものの、全体の中で1番多い22件となっている(第5-7表)。

第5-8図 「電気関係」による火災件数の推移



第5-7表 「電気関係」による火災の損害状況等

区分	電気関係		
	令和6年	令和5年	増減数
火災件数(件)	30	32	▲2
建物火災	22	24	▲2
車両火災	5	4	1
船舶火災	0	0	0
その他の火災	3	4	▲1
建物焼損床面積(m <sup>2</sup> )	208	472	▲264
建物焼損表面積(m <sup>2</sup> )	66	113	▲47
損害額(千円)	26,993	105,254	▲78,261

## 6 建物火災の主な出火原因

### (1) 建物火災の主な出火原因

令和6年中の建物火災（件）を出火原因別にみると、「こんろ」が27件で最も多く、次いで、「たばこ」が24件、「放火（疑いを含む）」が19件となっている（第6-1表）。

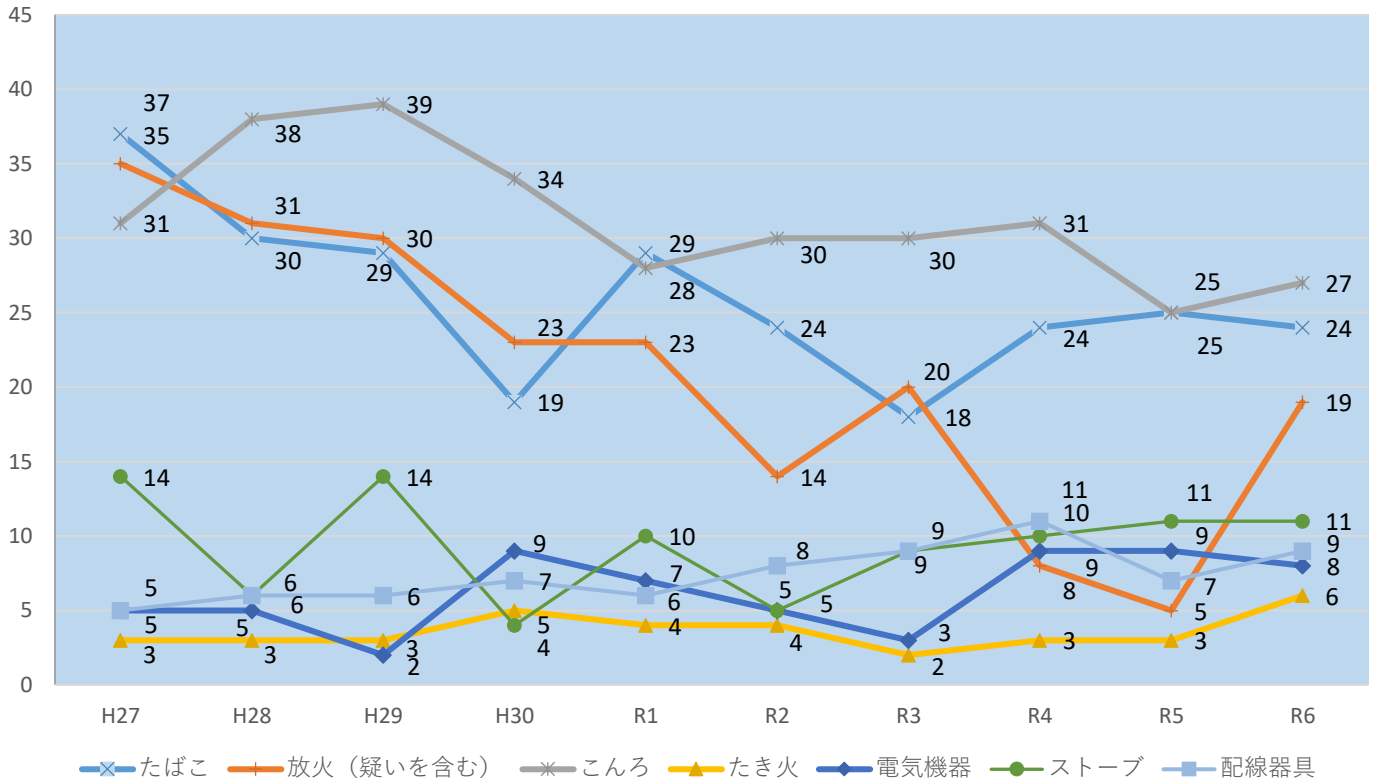
過去10年間の建物火災における主な出火原因の推移をみると、「こんろ」、「たばこ」及び「放火（疑いを含む）」が減少傾向にある一方、「ストーブ」、「配線器具」及び「電気機器」は横ばいとなっている（第6-1図）。

第6-1表 建物火災の主な出火原因

区分	令和6年		令和5年		増減数（件）												
	件数（件）	構成比（%）	件数（件）	構成比（%）													
こんろ	27	16.3	25	15.6	2												
たばこ	24	14.5	25	15.6	▲1												
放火（疑いを含む）	19	11.5	5	3.1	14												
ストーブ	11	6.6	11	6.9	0												
配線器具	9	5.4	7	4.4	2												
電気機器	8	4.8	9	5.6	▲1	その他	68	41	78	48.8	▲10	総計	166	100.0	160	100.0	6
その他	68	41	78	48.8	▲10												
総計	166	100.0	160	100.0	6												

（備考） 構成比総計欄の値が四捨五入により各値の合計と一致しない場合がある。

第6-1図 建物火災における主な出火原因の推移



## (2) 「こんろ」による火災の発生状況

建物火災のうち、「こんろ」による火災（27件）を熱源及び器具別で見ると、ガス器具による火災が24件で最も多く、約9割を占めている（第6-2表）。

着火物別にみると、「てんぷら油」が12件で、約4割を占めている（第6-3表）。

初期消火実施状況をみると、初期消火を実施したものは24件で、そのうち、初期消火に成功したものが20件となっている（第6-2図）。

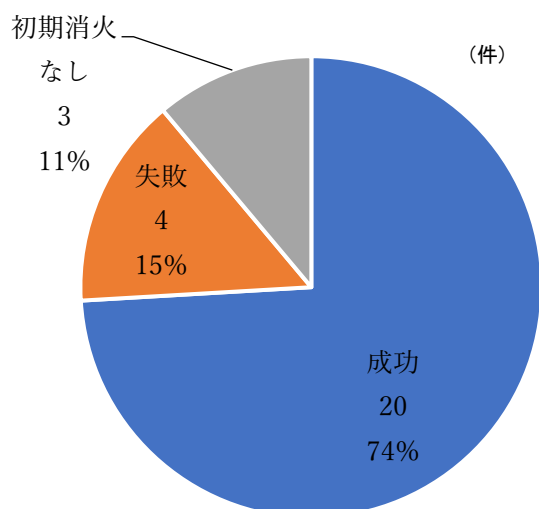
第6-2表 「こんろ」による火災の器具別火災件数 (件)

区分		令和6年	令和5年	増減	
熱源別	器具別				
電気	電気クッキングヒーター	2	2	0	
	電磁調理器（IH調理器）	1	2	▲1	
	電気こんろ	0	0	0	
	電気計	3	4	▲1	
ガス	都市ガス	ガスこんろ・テーブル	11	7	4
		大型こんろ	2	2	0
		その他の都市ガスを用いる固定したガス設備	1	0	1
		都市ガス計	14	9	5
	液化石油ガス（LPG）	ガスこんろ・テーブル	8	7	1
		大型こんろ	2	0	2
		簡易型ガスこんろ（カセット型）	0	5	▲5
		液化石油ガス計	10	12	▲2
	ガス器具合計		24	21	3
	その他	七輪こんろ	0	0	0
その他計		0	0	0	
総計		27	25	2	

第6-3表 「こんろ」による火災の着火物別件数

着火物	令和6年	令和5年
てんぷら油	12	12
油かす	5	0
衣類	2	3
合成樹脂	2	2
LPG	1	2
その他	5	6
総計	27	25

第6-2図 「こんろ」による火災の初期消火実施状況（令和6年）



### (3) 「たばこ」による火災の発生状況

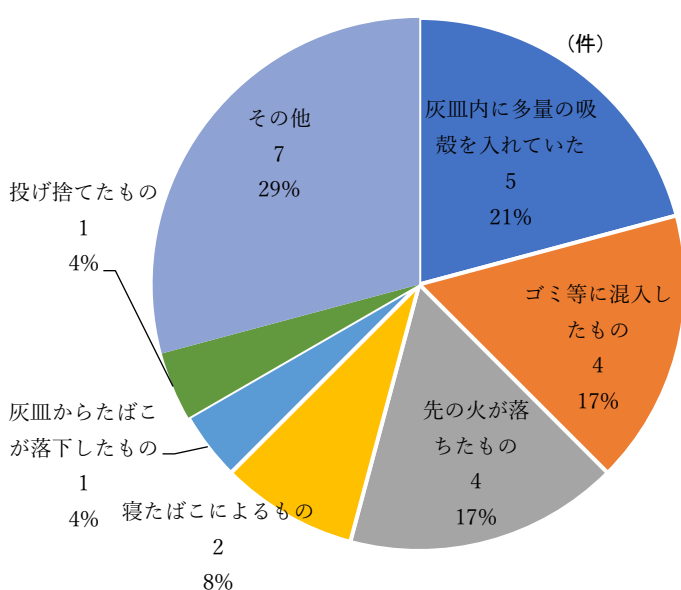
建物火災のうち、「たばこ」による火災（24件）を出火要因別にみると、「灰皿内に多量の吸殻を入れていた」が5件で最も多く、次いで、「ゴミ等に混入したもの」が4件となっている（第6-3図）。

着火物別にみると、「ごみ類」が12件で最も多く、次いで、「寝具等」が6件となっている（第6-4図）。

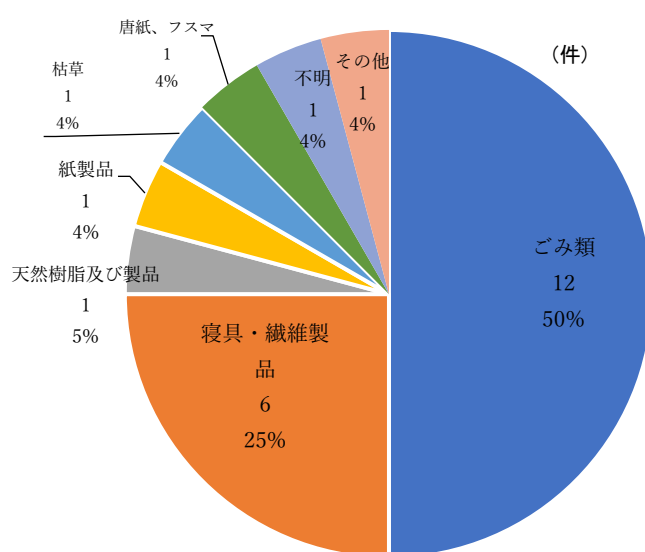
出火箇所別にみると、「住居部分」が14件で、そのうち「居室」が8件となっている（第6-5図）。

「たばこ」による火災は、「灰皿内に多量の吸殻を入れていた」や「ゴミ等に混入したもの」などの吸殻の処理方法に起因するものが約4割を占めているため、処理方法を改善することが火災予防に直結するといえる。

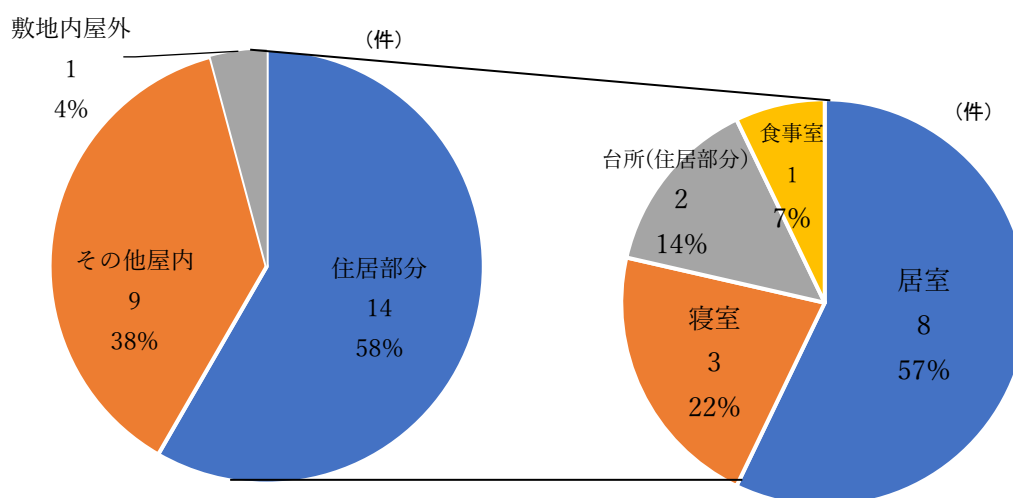
第6-3図 「たばこ」による火災の出火要因別件数（令和6年）



第6-4図 「たばこ」による火災の着火物別件数（令和6年）



第6-5図 建物火災のうち、「たばこ」による火災の出火箇所別件数（令和6年）



(備考) 「その他屋内」とは、ベランダ、バルコニー等をいう。

#### (4) 「ストーブ」による火災の発生状況

令和6年中の「ストーブ」による火災は11件で、前年と同様の件数となっている。

器具別にみると、「石油ストーブ（開放式）」によるものが5件で最も多く、次いで、「電気ストーブ」によるものが4件となっている。（第6-4表）。

過去10年間の器具別件数の推移をみると、「電気ストーブ」、「石油ストーブ」、「その他のストーブ（ガス、まき等）」は増減を繰り返しながらほぼ横ばいとなっている。（第6-6図）。

「ストーブ」による火災の傾向として、可燃物が何らかの形で接触することによるものが多くを占めているため、ストーブの使用環境を改めることが火災予防に効果的であるといえる。

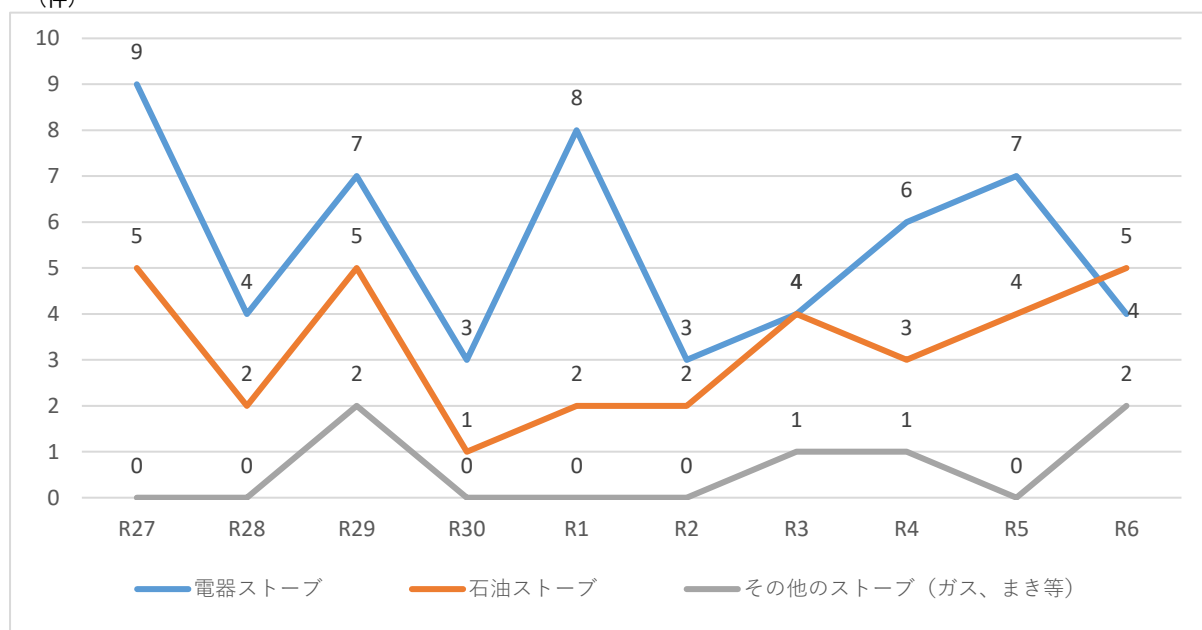
第6-4表 「ストーブ」による火災の器具別・経過別件数

(件)

区分		令和6年	令和5年	増減
器具別	経過別			
石油ストーブ（開放式）	可燃物が動いて火源に触れる	2	0	2
	可燃物が火源の上に転倒落下する	1	1	0
	本来の用途以外の不適な用に用いる	1	0	1
	輻射を受けて発火する	1	0	1
	引火する	0	1	▲1
	蓋の締め付けが不完全	0	1	▲1
	燃料を間違う	0	1	▲1
	石油ストーブ 計	5	4	1
電気ストーブ（開放式）	可燃物が動いて火源に触れる	3	3	0
	本来の用途以外の不適な用に用いる	0	3	▲3
	放置する	0	1	▲1
電気ストーブ（半密閉式）	可燃物が動いて火源に触れる	1	0	1
	電気ストーブ 計	4	7	▲3
その他のストーブ（ガス、まき等）	引火する	1	0	1
	可燃物が動いて火源に触れる	1	0	1
	その他のストーブ（ガス、まき等） 計	2	0	2
総計		11	11	0

第6-6図 「ストーブ」による火災の器具別件数の推移（平成27年～令和6年）

(件)



(5) 「電気関係」(電気装置、電灯・電話等の配線、配線器具)による火災の発生状況

令和6年中の「電気関係」による火災は22件で、前年に比べ2件減少している。

発火源別でみると、「器具付きコード」が5件で最も多く、次いで、「テーブルタップ」によるものが4件となっている。(第6-5表)。

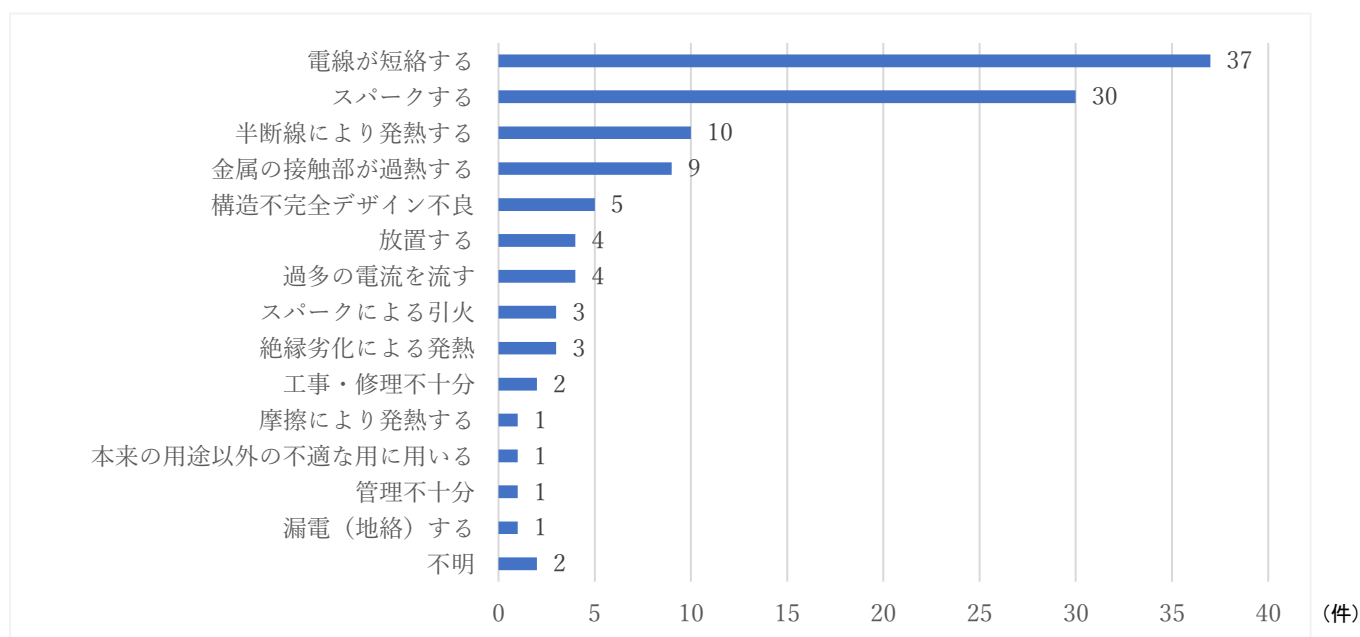
過去5年間の経過別でみると、「電線が短絡する」が37件で最も多く、次いで、「スパークする」が30件となっている(第6-7図)。

「電気関係」による火災の傾向として、「トラッキング」、「電線の短絡」、「半断線」等、コンセントから電線に至るまでの適切な管理がされていないために発生するものが多くを占めており、電源周りの定期的な手入れ等を行うことが火災予防に効果的であるといえる。

第6-5表 「電気関係」による火災の発火源別件数 (件)

区分	令和6年	令和5年	増減
器具付きコード	5	2	3
テーブルタップ	4	2	2
プラグ	3	4	▲1
リチウムイオン電池	2	2	0
電子レンジ	1	1	0
扇風機	1	1	0
コード	1	2	▲1
屋外線	1	0	1
コンデンサー(低圧)	1	0	1
その他	3	10	▲7
総計	22	24	▲2

第6-7図 過去5年間の「電気関係」による火災の経過別件数(令和2年~令和6年)



※「スパークする」はトラッキング現象を含む。



## 7 林野火災の主な出火原因

令和6年中の林野火災（4件）の出火原因は「たき火」が3件となっている。（第7-1表）。

過去10年間の林野火災件数（44件）を行政区別にみると、「安佐北区」が12件で最も多く、次いで、「安佐南区」が9件となっている（第7-2表）。

**第7-1表 林野火災の主な出火原因**

区分	令和6年		令和5年		増減数 件数（件）
	件数（件）	構成比（%）	件数（件）	構成比（%）	
たき火	3	75.0	1	50.0	2
たばこ	1	25.0	0	0	1
その他	0	0	1	50.0	▲1
総計	4	100.0	2	100.0	2

**第7-2表 過去10年間の林野火災の行政区別件数（平成27年～令和6年）**

区分	行政区別	件数（件）	構成比（%）
広島市	中区	0	0
	東区	1	2.3
	南区	2	4.6
	西区	1	2.3
	安佐南区	9	20.5
	安佐北区	12	27.3
	安芸区	5	11.4
	佐伯区	8	18.2
	広島市 計	38	86.4
受託市町	海田町	0	0
	坂町	2	4.6
	熊野町	2	4.6
	安芸太田町	1	2.3
	廿日市市吉和	1	2.3
	受託市町 計	6	13.6
総計		44	100.0

（備考） 構成比総計欄の値が四捨五入により各値の合計と一致しない場合がある。

## 8 車両火災の主な出火原因

令和6年中の車両火災（27件）を出火原因別にみると、「排気管」及び「電気機器」がそれぞれ4件で最も多く、約3割を占めている。次いで、「マッチ・ライター」、「衝突の火花」、「放火(疑いを含む。）」がそれぞれ2件となっている

### (第8-1表)。

過去10年間の「排気管」に起因した火災は56件で、発生経過及び着火物別にみると、「着火物が漏洩する」が22件で最も多く、そのうち、エンジンオイル等の「第4石油類」に着火したものが18件となっている（第8-2表）。

第8-1表 車両火災の主な原因

区分	令和6年		令和5年		増減数
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)
排気管	4	14.8	4	21.1	0
電気機器	4	14.8	3	15.8	1
マッチ・ライター	2	7.4	2	10.5	0
衝突の火花	2	7.4	0	0	2
放火(疑いを含む。)	2	7.4	0	0	2
たばこ	1	3.7	3	15.8	▲2
その他	12	44.4	7	36.8	5
総計	27	100.0	19	100.0	8

(備考) 構成比総計欄の値が四捨五入により各値の合計と一致しない場合がある。

第8-2表 「排気管」による火災の発生経過及び着火物別件数（平成27年～令和6年）

(件)

区分	着火物						
	第1石油類	第2石油類	第3石油類	第4石油類	繊維製品	その他可燃物	計
着火物が漏洩する	1	0	3	18	0	0	22
衝突により発火(交通事故)	0	0	4	5	0	0	9
可燃物が動いて火源に触れる	0	0	0	1	6	1	8
可燃物が火源の上に転倒落下する	0	0	2	1	0	1	4
工事・修理不十分	0	1	0	0	0	1	2
その他	0	0	0	2	0	9	11
計	1	1	9	27	6	12	56

## 9 その他の火災の主な出火原因

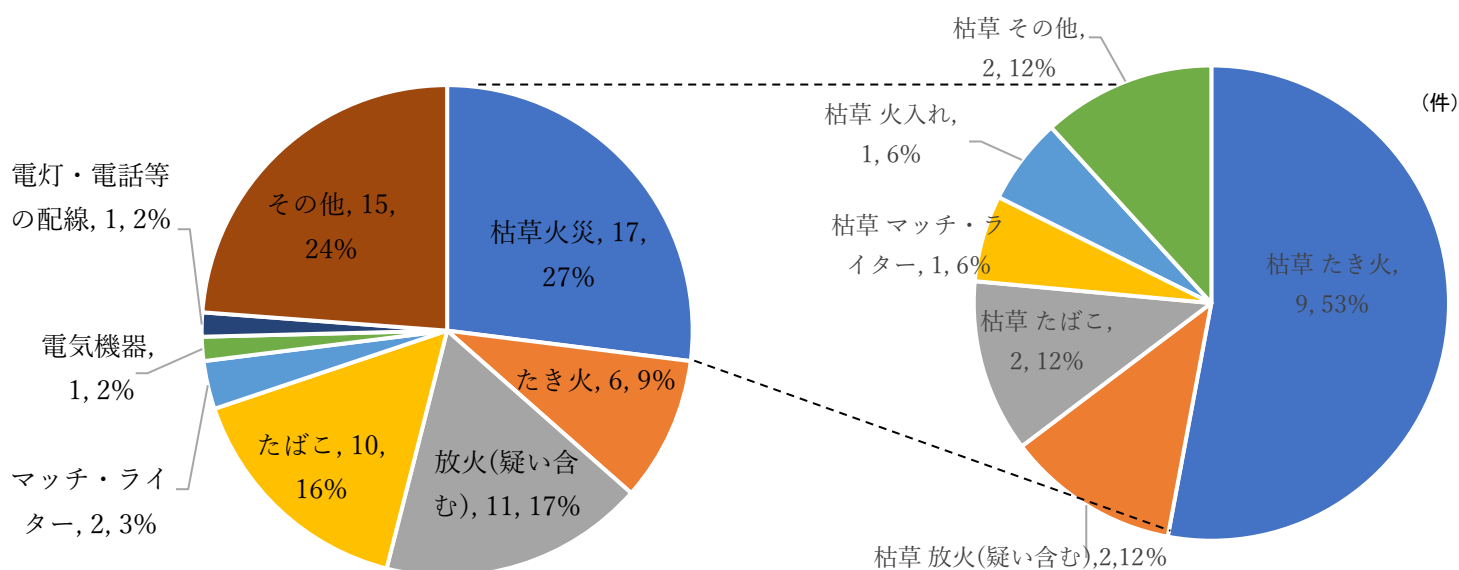
令和6年中のその他の火災（63件）を出火原因別にみると、「たき火」が15件で最も多く、23.8%となっており、次いで、「放火(疑いを含む)」が13件となっている（第9-1表）。

その他の火災のうち、「枯草火災」は35件で、出火原因別内訳は「たき火」が14件で最も多く、次いで、「たばこ」が7件となっている（第9-1図）。

第9-1表 その他の火災の主な出火原因

区分	令和6年		令和5年		増減数 件数(件)
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	
たき火	15	23.8	19	27.9	▲4
放火(疑いを含む)	13	20.6	11	16.2	2
たばこ	12	19.1	15	22.0	▲3
マッチ・ライター	3	4.8	0	0	3
火入れ	1	1.6	4	5.9	▲3
電気機器	1	1.6	1	1.5	0
その他	18	28.6	18	26.5	0
総計	63	100.0	68	100.0	▲5

第9-1図 その他の火災のうち、「枯草火災」の出火原因別件数（令和6年）



（備考） 「枯草火災」とは、主な焼損物件が枯草及び落葉等のものをいう。

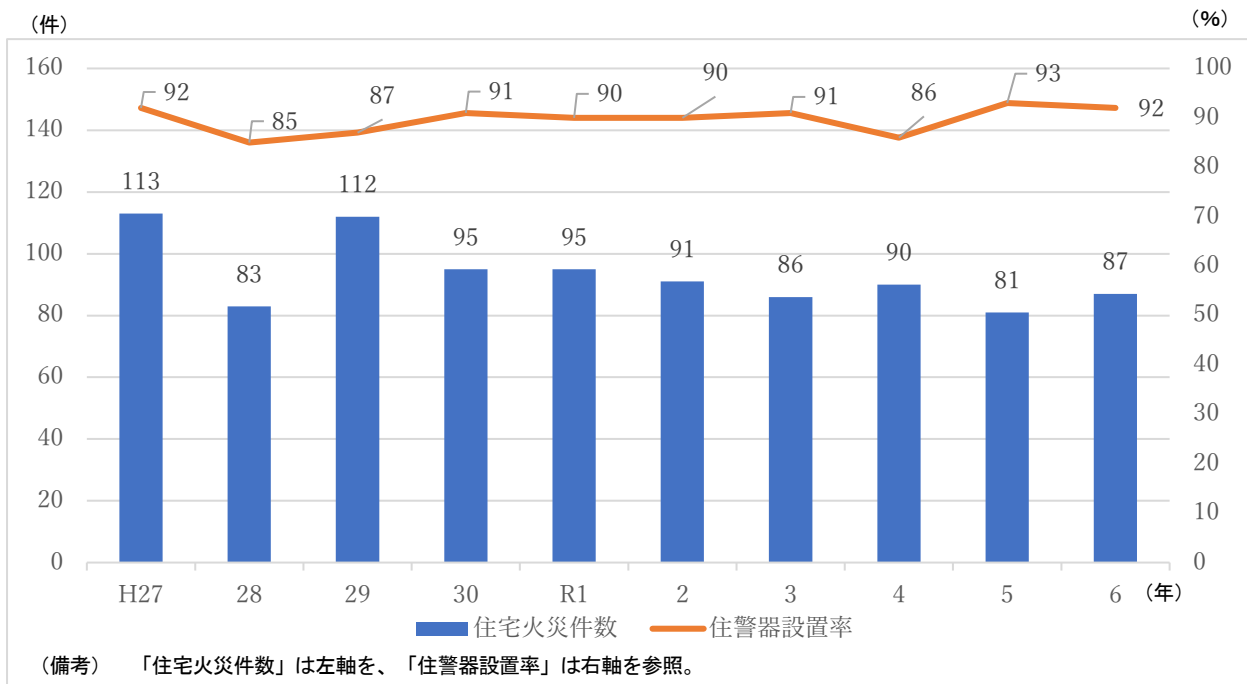
# 10 住宅用火災警報器と住宅火災

## (1) 住宅用火災警報器の設置率と住宅火災件数の推移

過去10年間の住宅用火災警報器（以下「住警器」という。）設置率※は平成27年から見ると横ばいで90%前後を推移している。住宅火災件数は減少傾向であるが、令和5年の81件から令和6年は87件と若干増加している（第10-1図）。

※住警器設置率とは、広島市消防局管内（受託市町を含む）において調査世帯のうち、住警器が設置されているもしくは一部設置されている世帯の割合を示すもの。（調査世帯は無作為抽出により決定する。）  
 次の計算式により算出する。【(設置世帯数+一部設置世帯数) ÷ 調査世帯数 × 100 = 住警器設置率】  
 令和6年の設置率算出… (1793世帯+445世帯) ÷ 2434世帯 × 100 = 93%

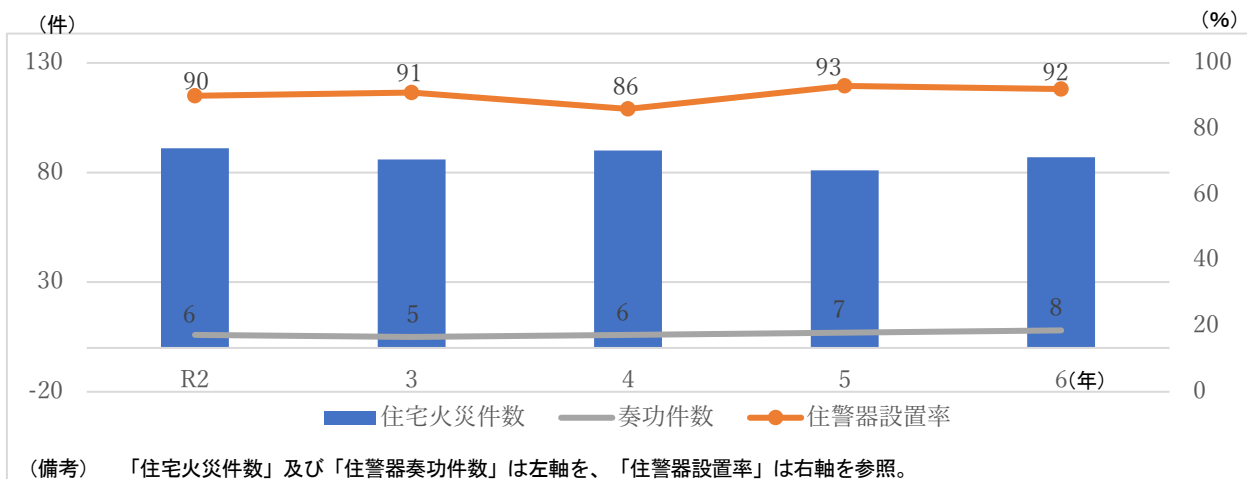
第10-1図 住警器設置率と住宅火災件数の推移



## (2) 住警器奏功事例

過去5年間で、住警器が奏功した事案は32件発生しており、年平均にすると、毎年約6件となっている（第10-2図）。

第10-2図 過去5年間の住警器奏功件数（令和2年～令和6年）



### 【事例①】

一般住宅の台所において、居住者が鍋をガスコンロの火にかけてそのまま外出したことで出火。住警器の警報音を聞き駆けつけた近隣住民が窓ガラスを割り、その窓から消火器を噴射させ消火に成功した。

### 【事例②】

一般住宅の居室において、居住者が寝たばこをしてしまい、たばこの火種が布団上に落下し、布団から発煙。住警器の警報音で目覚めた居住者が、やかんで水をかけることで消火に成功した。

### 【事例③】

共同住宅の一室において、電気ストーブのスイッチが誤操作により押下されたことで付近の可燃物と接触し発煙。台所で料理中だった居住者が、住警器の警報音で異変に気づき、対処したことにより火災に至らなかった。



火災の早期発見のため、住警器を設置しようや！  
ちゃんと作動するように定期点検も忘れようね！



# 1 1 別表

## 第 1 表 覚知別火災概況

区分	総計	火災報知専用電話	警察電話	加入電話	その他
出火件数 (件)	260	199	15	7	39
- 建物	166	127	10	2	27
林野	4	4	-	-	-
車両	27	19	2	1	5
船舶	-	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-	-
その他	63	49	3	4	7
焼損棟数 (棟)	240	195	13	2	30
- 全焼	32	29	1	-	2
半焼	11	9	1	-	1
部分焼	60	57	2	-	1
ぼや	137	100	9	2	26
建物焼損床面積 (㎡)	3,173	2,981	94	-	98
表面積 (㎡)	878	852	20	-	6
林野焼損面積 (a)	34	34	-	-	-
死者 (人)	15	12	1	-	2
負傷者 (人)	47	44	-	-	3
り災世帯数 (世帯)	160	130	11	2	17
- 全損	24	22	1	-	1
半損	12	11	1	-	-
小損	124	97	9	2	16
り災人員 (人)	325	264	27	3	31
損害額 (千円)	312,260	295,959	9,089	3	7,209
- 建物	304,303	289,585	8,538	3	6,177
林野	-	-	-	-	-
車両	6,978	5,668	511	-	799
船舶	-	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-	-
その他	828	705	40	-	83
爆発	151	1	-	-	150

第2表 月・日別火災件数

区分	総計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	不明
総計	260	24	21	26	20	18	18	24	23	26	12	21	27	-
1日	8	-	-	1	2	-	1	-	1	2	-	-	1	-
2日	2	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
3日	4	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-
4日	14	2	1	1	1	3	1	-	2	1	1	1	-	-
5日	10	-	-	-	-	1	1	2	1	1	-	1	3	-
6日	9	1	1	-	1	1	2	-	-	2	-	-	1	-
7日	7	-	-	-	2	1	-	-	1	-	-	3	-	-
8日	6	-	1	2	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-
9日	8	1	1	1	1	1	1	-	-	2	-	-	-	-
10日	12	2	2	2	-	-	-	1	2	1	-	-	2	-
11日	6	2	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	1	-
12日	7	1	-	-	1	-	-	1	1	1	-	-	2	-
13日	11	-	1	1	1	-	-	1	2	1	1	2	1	-
14日	9	2	1	-	2	1	1	1	1	-	-	-	-	-
15日	9	1	-	2	1	-	-	1	1	-	2	1	-	-
16日	10	-	1	4	-	-	-	2	1	-	1	1	-	-
17日	12	3	2	-	-	1	1	2	-	-	-	2	1	-
18日	7	1	1	-	1	1	-	-	1	-	-	1	1	-
19日	7	-	1	1	1	-	1	-	-	2	-	1	-	-
20日	3	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
21日	7	-	-	1	1	-	1	3	-	-	-	1	-	-
22日	8	1	2	-	-	1	-	-	-	1	-	2	1	-
23日	8	-	-	-	1	-	1	1	2	2	1	-	-	-
24日	12	-	3	-	1	-	1	-	1	-	3	2	1	-
25日	9	2	-	1	-	2	1	-	1	2	-	-	-	-
26日	7	-	-	1	-	-	1	1	-	1	1	1	1	-
27日	11	1	1	2	-	-	1	1	2	1	-	-	2	-
28日	12	1	-	-	2	1	-	2	-	2	1	-	3	-
29日	9	1	2	1	-	-	-	-	-	3	-	1	1	-
30日	9	-	-	2	-	1	-	2	1	1	-	-	2	-
31日	4	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-
不明	3	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-

第3表 月・曜日別火災概況

区分	出火件数 (件)							焼損棟数 (棟)					焼損面積			死傷者 (人)	
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物床面積 (㎡)	建物表面積 (㎡)	林野面積 (a)	死者	負傷者
総計	260	166	4	27	-	-	63	240	32	11	60	137	3,173	878	34	15	47
1月	24	14	1	-	-	-	9	16	2	-	7	7	279	91	-	4	7
2月	21	13	-	1	-	-	7	15	1	2	-	12	105	34	-	1	2
3月	26	20	-	1	-	-	5	47	9	3	14	21	1,278	152	-	2	8
4月	20	11	1	2	-	-	6	18	1	1	6	10	91	259	25	1	5
5月	18	10	1	3	-	-	4	14	2	1	5	6	85	7	2	1	-
6月	18	11	1	2	-	-	4	10	-	-	1	9	1	3	6	-	5
7月	24	16	-	3	-	-	5	22	4	1	5	12	312	84	-	-	3
8月	23	11	-	5	-	-	7	18	4	-	4	10	165	15	-	1	1
9月	26	16	-	5	-	-	5	19	3	1	3	12	155	81	-	1	1
10月	12	11	-	1	-	-	-	14	1	-	2	11	59	16	-	1	1
11月	21	17	-	-	-	-	4	18	2	1	4	11	301	56	1	1	10
12月	27	16	-	4	-	-	7	29	3	1	9	16	342	80	-	2	4
不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総計	260	166	4	27	-	-	63	240	32	11	60	137	3,173	878	34	15	47
日曜	45	31	1	4	-	-	9	44	4	3	11	26	281	196	-	1	10
月曜	28	21	-	5	-	-	2	34	3	1	7	23	130	117	-	1	6
火曜	36	18	-	6	-	-	12	25	3	1	4	17	228	81	-	-	3
水曜	29	18	1	1	-	-	9	25	4	2	9	10	649	161	6	6	7
木曜	41	27	-	3	-	-	11	35	5	2	9	19	929	78	1	2	1
金曜	37	24	1	5	-	-	7	36	5	-	9	22	530	58	25	3	2
土曜	41	25	1	3	-	-	12	39	8	2	11	18	426	186	2	2	18
不明	3	2	-	-	-	-	1	2	-	-	-	2	-	1	-	-	-

区分	り災世帯数 (世帯)				り災人員 (人)	損害額 (千円)							
	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
総計	160	24	12	124	325	312,260	304,303	-	6,978	-	-	828	151
1月	19	4	3	12	45	60,278	60,159	-	51	-	-	68	-
2月	8	1	-	7	15	7,664	7,593	-	49	-	-	22	-
3月	33	8	2	23	71	89,401	88,833	-	449	-	-	119	-
4月	22	4	3	15	37	16,776	16,584	-	111	-	-	81	-
5月	6	-	1	5	21	13,256	9,992	-	3,232	-	-	32	-
6月	7	-	-	7	14	1,275	1,125	-	-	-	-	-	150
7月	12	2	-	10	20	52,132	51,054	-	973	-	-	105	-
8月	9	1	1	7	26	8,436	8,033	-	285	-	-	118	-
9月	10	-	2	8	18	12,371	11,628	-	717	-	-	26	-
10月	9	1	-	8	21	4,595	4,457	-	105	-	-	33	-
11月	6	1	-	5	12	20,539	20,503	-	11	-	-	24	1
12月	19	2	-	17	25	25,537	24,342	-	995	-	-	200	-
不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総計	160	24	12	124	325	312,260	304,303	-	6,978	-	-	828	151
日曜	23	2	1	20	33	39,712	38,801	-	687	-	-	74	150
月曜	23	1	2	20	54	14,135	13,509	-	543	-	-	83	-
火曜	15	1	1	13	36	27,045	26,570	-	454	-	-	21	-
水曜	30	9	4	17	54	94,601	94,439	-	74	-	-	88	-
木曜	23	3	3	17	47	30,683	30,005	-	507	-	-	171	-
金曜	23	3	1	19	50	51,187	50,387	-	600	-	-	200	-
土曜	22	5	-	17	49	54,826	50,521	-	4,113	-	-	191	1
不明	1	-	-	1	2	71	71	-	-	-	-	-	-



第4表 時間別火災概況 1/2

区分	出火件数 (件)							焼損棟数 (棟)					焼損面積			死傷者 (人)	
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物 床面積 (㎡)	建物 表面積 (㎡)	林野 面積 (a)	死者	負傷者
総計	260	166	4	27	-	-	63	240	32	11	60	137	3,173	878	34	15	47
0-1時	8	8	-	-	-	-	-	12	3	1	2	6	584	4	-	-	1
1-2時	4	3	-	1	-	-	-	16	2	1	6	7	116	85	-	1	-
2-3時	7	4	-	1	-	-	2	8	1	-	5	2	91	43	-	1	1
3-4時	8	7	-	-	-	-	1	8	1	-	-	7	59	16	-	-	1
4-5時	5	5	-	-	-	-	-	12	1	2	6	3	120	61	-	1	1
5-6時	7	3	-	1	-	-	3	7	2	-	3	2	13	72	-	-	-
6-7時	5	4	-	1	-	-	-	4	-	1	1	2	11	28	-	-	-
7-8時	8	6	-	1	-	-	1	10	2	1	2	5	168	15	-	4	3
8-9時	3	2	-	-	-	-	1	3	-	-	2	1	-	25	-	-	1
9-10時	10	8	1	1	-	-	-	9	1	-	3	5	295	7	-	1	3
10-11時	9	4	-	1	-	-	4	4	-	-	-	4	-	-	-	-	-
11-12時	17	11	-	3	-	-	3	14	3	-	1	10	325	2	-	1	2
12-13時	18	10	-	2	-	-	6	13	2	1	1	9	64	14	-	-	10
13-14時	11	4	-	3	-	-	4	6	-	-	1	5	-	2	-	-	1
14-15時	15	8	-	1	-	-	6	9	2	-	1	6	133	6	-	-	3
15-16時	10	3	1	-	-	-	6	3	1	-	1	1	6	6	25	-	-
16-17時	22	9	1	2	-	-	10	13	2	-	3	8	81	39	6	-	-
17-18時	15	11	1	1	-	-	2	12	-	-	2	10	1	84	2	-	4
18-19時	12	7	-	4	-	-	1	7	-	-	2	5	2	16	-	-	2
19-20時	19	15	-	1	-	-	3	23	4	2	6	11	488	87	-	2	8
20-21時	15	10	-	1	-	-	4	10	1	1	3	5	301	65	1	1	2
21-22時	10	6	-	1	-	-	3	5	-	-	1	4	36	51	-	-	1
22-23時	10	9	-	-	-	-	1	23	4	1	8	10	279	145	-	2	3
23-24時	8	7	-	1	-	-	-	7	-	-	-	7	-	4	-	-	-
不明	4	2	-	-	-	-	2	2	-	-	-	2	-	1	-	1	-

第5表 時間別火災概況 2/2

区分	り災世帯数（世帯）				り災人員 （人）	損害額（千円）							
	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
総計	160	24	12	124	325	312,260	304,303	-	6,978	-	-	828	151
0-1時	7	-	-	7	12	9,848	9,794	-	54	-	-	-	-
1-2時	9	1	1	7	23	22,722	22,239	-	412	-	-	71	-
2-3時	9	2	-	7	19	14,505	14,177	-	295	-	-	33	-
3-4時	6	-	1	5	16	1,375	1,335	-	9	-	-	31	-
4-5時	9	1	1	7	13	10,484	10,462	-	20	-	-	2	-
5-6時	3	-	-	3	4	2,600	2,565	-	33	-	-	2	-
6-7時	2	-	1	1	2	3,724	3,174	-	550	-	-	-	-
7-8時	6	2	-	4	20	17,029	16,902	-	51	-	-	76	-
8-9時	2	-	1	1	4	318	305	-	-	-	-	13	-
9-10時	8	1	1	6	15	21,986	21,887	-	48	-	-	51	-
10-11時	2	-	-	2	2	393	393	-	-	-	-	-	-
11-12時	7	3	-	4	15	23,963	23,541	-	196	-	-	76	150
12-13時	4	-	1	3	11	8,632	8,528	-	82	-	-	21	1
13-14時	3	-	-	3	8	254	124	-	115	-	-	15	-
14-15時	6	2	1	3	11	23,301	22,852	-	344	-	-	105	-
15-16時	-	-	-	-	-	2,593	2,589	-	-	-	-	4	-
16-17時	6	-	-	6	8	5,505	4,927	-	520	-	-	58	-
17-18時	8	-	-	8	16	1,834	1,828	-	3	-	-	3	-
18-19時	3	-	-	3	11	3,323	95	-	3,216	-	-	12	-
19-20時	22	5	1	16	44	85,079	84,435	-	637	-	-	7	-
20-21時	16	4	3	9	27	25,711	25,289	-	350	-	-	72	-
21-22時	3	-	-	3	7	5,869	5,869	-	-	-	-	-	-
22-23時	14	3	-	11	32	21,041	20,868	-	6	-	-	167	-
23-24時	5	-	-	5	5	169	124	-	37	-	-	8	-
不明	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	1	-

第6表 出火原因別火災概況 1/2

区分	出火件数 (件)							焼損棟数 (棟)					焼損面積			死傷者 (人)	
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物 床面積 (㎡)	建物 表面積 (㎡)	林野 面積 (a)	死者	負傷者
総計	260	166	4	27	-	-	63	240	32	11	60	137	3,173	878	34	15	47
たばこ	38	24	1	1	-	-	12	36	3	1	12	20	300	150	-	3	3
こんろ	27	27	-	-	-	-	-	27	-	-	3	24	20	17	-	-	6
かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風呂かまど	2	2	-	-	-	-	-	2	1	-	-	1	167	1	1	-	-
炉	4	4	-	-	-	-	-	4	1	-	-	3	54	-	-	-	-
焼却炉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ストーブ	11	11	-	-	-	-	-	24	5	3	10	6	458	159	-	6	7
こたつ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ボイラー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
煙突・煙道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排気管	4	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
電気機器	13	8	-	4	-	-	1	9	-	1	3	5	88	1	-	-	-
電気装置	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
電灯・電話等の配線	5	4	-	-	-	-	1	6	1	-	1	4	8	12	-	-	-
内燃機関	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
配線器具	11	9	-	1	-	-	1	9	-	-	4	5	112	53	-	-	1
火あそび	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マッチ・ライター	6	1	-	2	-	-	3	1	-	-	-	1	-	-	-	-	3
たき火	24	6	3	-	-	-	15	12	7	-	2	3	158	30	33	-	1
溶接機・切断機	2	1	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	13	-	-	-
灯火	2	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	1	-	-	1
衝突の火花	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
取灰	2	1	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	2	6	-	-	-
火入れ	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
放火	25	15	-	1	-	-	9	19	1	-	3	15	77	82	-	2	2
放火の疑い	9	4	-	1	-	-	4	5	-	2	2	1	595	21	-	-	3
その他	50	31	-	7	-	-	12	43	4	2	7	30	139	208	-	2	15
不明・調査中	20	15	-	2	-	-	3	38	9	2	11	16	995	124	-	2	4

第7表 出火原因別火災概況 2/2

区分	り災世帯数（世帯）				り災人員 （人）	損害額（千円）							
	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
総計	160	24	12	124	325	312,260	304,303	-	6,978	-	-	828	151
たばこ	25	4	2	19	40	43,737	43,609	-	80	-	-	48	-
こんろ	17	-	1	16	34	3,639	3,639	-	-	-	-	-	-
かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風呂かまど	2	1	-	1	2	7,366	7,365	-	-	-	-	1	-
炉	-	-	-	-	-	3,234	3,234	-	-	-	-	-	-
焼却炉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ストーブ	21	5	1	15	53	47,701	47,471	-	51	-	-	179	-
こたつ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ボイラー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
煙突・煙道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排気管	-	-	-	-	-	30	-	-	30	-	-	-	-
電気機器	6	-	1	5	13	14,657	14,101	-	536	-	-	20	-
電気装置	-	-	-	-	-	18	18	-	-	-	-	-	-
電灯・電話等の配線	1	-	-	1	1	584	518	-	20	-	-	46	-
内燃機関	-	-	-	-	-	2	-	-	2	-	-	-	-
配線器具	7	-	1	6	16	11,734	11,633	-	100	-	-	1	-
火あそび	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マッチ・ライター	1	-	-	1	1	166	-	-	-	-	-	16	150
たき火	1	-	-	1	2	5,657	5,555	-	95	-	-	7	-
溶接機・切断機	-	-	-	-	-	51	51	-	-	-	-	-	-
灯火	2	-	-	2	6	285	285	-	-	-	-	-	-
衝突の火花	-	-	-	-	-	587	-	-	587	-	-	-	-
取灰	1	-	-	1	5	66	64	-	2	-	-	-	-
火入れ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
放火	23	4	3	16	36	9,775	9,445	-	295	-	-	35	-
放火の疑い	2	1	-	1	4	28,460	28,218	-	230	-	-	12	-
その他	23	1	-	22	49	20,059	19,286	-	699	-	-	73	1
不明・調査中	28	8	3	17	63	114,452	109,811	-	4,251	-	-	390	-

第8表 出火原因別・月別火災発生件数

区分	総計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	不明
総計	260	24	21	26	20	18	18	24	23	26	12	21	27	-
たばこ	38	6	2	6	-	3	2	5	1	3	2	2	6	-
こんろ	27	1	3	-	4	2	3	1	1	1	3	5	3	-
かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風呂かまど	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
炉	4	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-	-	-	-
焼却炉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ストーブ	11	2	2	2	1	-	-	-	-	1	-	2	1	-
こたつ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ボイラー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
煙突・煙道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排気管	4	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	1	-
電気機器	13	-	2	1	-	3	1	1	3	1	-	-	1	-
電気装置	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
電灯・電話等の配線	5	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-
内燃機関	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
配線器具	11	3	1	-	-	-	-	1	2	4	-	-	-	-
火あそび	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マッチ・ライター	6	-	-	1	1	-	1	2	-	1	-	-	-	-
たき火	24	5	3	3	5	1	1	-	1	2	-	1	2	-
溶接機・切断機	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
灯火	2	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
衝突の火花	2	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
取灰	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
火入れ	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
放火	25	3	-	2	1	1	3	3	-	4	3	-	5	-
放火の疑い	9	-	-	1	1	1	-	1	1	1	1	2	-	-
その他	50	2	4	4	7	2	3	6	7	3	2	5	5	-
不明・調査中	20	2	-	2	-	4	1	1	5	1	-	2	2	-

第9表 出火原因別・時間別火災発生件数

区分	総計	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不明
		1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時		
総計	260	8	4	7	8	5	7	5	8	3	10	9	17	18	11	15	10	22	15	12	19	15	10	10	8	4
たばこ	38	-	1	1	1	2	1	-	-	1	3	1	-	3	1	3	3	5	2	1	3	1	2	2	1	-
こんろ	27	-	-	-	1	1	-	-	-	1	2	-	2	1	1	-	1	2	3	1	3	2	2	-	4	-
かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風呂かまど	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
炉	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
焼却炉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ストーブ	11	-	-	-	2	2	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
こたつ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ボイラー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
煙突・煙道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排気管	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
電気機器	13	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	2	2	1	1	-	1	-	1	1	1	-	-	-	-
電気装置	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
電灯・電話等の配線	5	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
内燃機関	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
配線器具	11	2	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	1	2	-	1	-	-	-
火あそび	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マッチ・ライター	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
たき火	24	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	3	4	4	5	1	1	-	1	-	-	-	-
溶接機・切断機	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
灯火	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
衝突の火花	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
取灰	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
火入れ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
放火	25	2	-	4	-	-	1	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	2	4	-	3	1	3
放火の疑い	9	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	1	-	2	1	-	-
その他	50	-	1	-	-	-	1	2	4	1	2	5	6	3	3	2	1	5	4	1	2	3	3	-	-	1
不明・調査中	20	-	2	-	1	-	2	-	-	-	1	-	3	-	-	1	1	-	1	1	3	2	-	2	-	-

第10表 風速・湿度別火災概況 1/2

風速 (m/s)	湿度 (%)	出火件数 (件)							焼損棟数 (棟)					焼損面積			死傷者 (人)		
		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物 床面積 (㎡)	建物 表面積 (㎡)	林野 面積 (a)	死者	負傷者	
総計		260	166	4	27	-	-	63	240	32	11	60	137	3,173	878	34	15	47	
0-3 未 満	3.5 (%) 未満	11	4	1	2	-	-	4	4	1	-	-	3	13	1	25	-	2	
	3.5 ~ 5.5	69	34	2	8	-	-	25	47	6	2	10	29	458	79	9	2	8	
	5.5 ~ 7.5	106	71	1	11	-	-	23	95	11	5	22	57	1,041	449	-	6	27	
	7.5 以上	53	39	-	6	-	-	8	63	9	3	18	33	1,297	268	-	6	9	
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3-6 未 満	3.5 (%) 未満	3	3	-	-	-	-	-	4	1	-	-	3	9	-	-	-	1	
	3.5 ~ 5.5	8	6	-	-	-	-	2	18	4	1	9	4	353	74	-	1	-	
	5.5 ~ 7.5	7	6	-	-	-	-	1	6	-	-	1	5	2	6	-	-	-	
	7.5 以上	2	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6-9 未 満	3.5 (%) 未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	3.5 ~ 5.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	5.5 ~ 7.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	7.5 以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9 以上	3.5 (%) 未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	3.5 ~ 5.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	5.5 ~ 7.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	7.5 以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不明	3.5 (%) 未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	3.5 ~ 5.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	5.5 ~ 7.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	7.5 以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	不明	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	

第 1 1 表 風速・湿度別火災概況 2/2

風速 (m/s)	湿度 (%)	り災世帯数 (世帯)				り災人員 (人)	損害額 (千円)							
		計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
総計		160	24	12	124	325	312,260	304,303	-	6,978	-	-	828	151
0-3 未満	3.5 (%) 未満	3	-	-	3	9	3,353	133	-	3,209	-	-	11	-
	3.5 ~ 5.5	27	2	1	24	58	41,557	40,621	-	840	-	-	96	-
	5.5 ~ 7.5	63	10	3	50	135	167,987	165,851	-	1,737	-	-	398	1
	7.5 以上	47	8	7	32	91	77,051	75,495	-	1,152	-	-	254	150
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3-6 未満	3.5 (%) 未満	1	-	-	1	1	144	114	-	20	-	-	10	-
	3.5 ~ 5.5	13	4	1	8	17	21,963	21,899	-	20	-	-	44	-
	5.5 ~ 7.5	5	-	-	5	11	129	114	-	-	-	-	15	-
	7.5 以上	1	-	-	1	3	75	75	-	-	-	-	-	-
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6-9 未満	3.5 (%) 未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3.5 ~ 5.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5.5 ~ 7.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7.5 以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9 以上	3.5 (%) 未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3.5 ~ 5.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5.5 ~ 7.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7.5 以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不明	3.5 (%) 未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3.5 ~ 5.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5.5 ~ 7.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7.5 以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	不明	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-



第12表 火元建物用途別概況 1/2

区分	出火件数 (件)							焼損棟数 (棟)					焼損面積			死傷者 (人)	
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物床面積 (㎡)	建物表面積 (㎡)	林野面積 (a)	死者	負傷者
総計	166	166	-	-	-	-	-	237	32	11	59	135	3,173	869	1	13	34
住宅火災	住宅	43	43	-	-	-	-	92	17	9	29	37	1,860	381	1	13	16
	併用住宅	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	共同住宅	43	43	-	-	-	-	42	-	-	7	35	188	134	-	-	8
住宅火災 計	87	87	-	-	-	-	-	135	17	9	36	73	2,048	515	1	13	24
劇場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公会堂	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
キャバレー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
遊技場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
性風俗店	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
料理店	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
飲食	9	9	-	-	-	-	-	9	1	1	2	5	158	36	-	-	-
物品販売店舗	2	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-
旅館	3	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-
病院	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
社会福祉施設	1	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-
幼稚園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学校	4	4	-	-	-	-	-	4	-	-	2	2	36	54	-	-	-
図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特殊浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公衆浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
停車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神社・寺院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
工場	7	7	-	-	-	-	-	7	-	-	2	5	-	24	-	-	-
スタジオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
駐車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
航空機格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
倉庫	12	12	-	-	-	-	-	27	9	-	7	11	167	118	-	-	2
事務所	3	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	1	-	-	-	-
複合用途 (特定)	14	14	-	-	-	-	-	15	-	-	3	12	111	80	-	-	3
複合用途 (非特定)	10	10	-	-	-	-	-	10	-	-	4	6	79	26	-	-	4
地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
準地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
文化財	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	12	12	-	-	-	-	-	18	5	1	3	9	573	16	-	-	1

(備考) 火元が建物ではない建物火災の値は用途分類されないため、表中に含まない。

第13表 火元建物用途別概況 2/2

区分	り災世帯数（世帯）				り災人員 （人）	損害額（千円）								
	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発	
総計	157	24	12	121	318	305,811	303,972	-	1,285	-	-	554	-	
住宅火災	住宅	82	17	4	61	189	174,239	172,618	-	1,135	-	-	486	-
	併用住宅	-	-	-	-	-	66	66	-	-	-	-	-	-
	共同住宅	54	5	6	43	93	59,377	59,376	-	-	-	-	1	-
住宅火災 計	136	22	10	104	282	233,682	232,060	-	1,135	-	-	487	-	
劇場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公会堂	-	-	-	-	-	4	4	-	-	-	-	-	-	-
キャバレー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
遊技場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
性風俗店	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
料理店	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
飲食	1	-	-	1	2	26,203	26,203	-	-	-	-	-	-	-
物品販売店舗	-	-	-	-	-	418	418	-	-	-	-	-	-	-
旅館	-	-	-	-	-	17	17	-	-	-	-	-	-	-
病院	1	-	-	1	1	3	3	-	-	-	-	-	-	-
社会福祉施設	1	-	-	1	1	155	155	-	-	-	-	-	-	-
幼稚園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学校	-	-	-	-	-	5,837	5,837	-	-	-	-	-	-	-
図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特殊浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公衆浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
停車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神社・寺院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
工場	-	-	-	-	-	2,130	2,130	-	-	-	-	-	-	-
スタジオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
駐車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
航空機格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
倉庫	6	-	-	6	13	8,827	8,659	-	124	-	-	44	-	
事務所	-	-	-	-	-	29	29	-	-	-	-	-	-	-
複合用途（特定）	1	-	-	1	1	12,183	12,183	-	-	-	-	-	-	-
複合用途（非特定）	8	2	2	4	13	6,829	6,829	-	-	-	-	-	-	-
地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
準地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
文化財	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	3	-	-	3	5	9,494	9,445	-	26	-	-	23	-	

（備考）火元が建物ではない建物火災の値は用途分類されないため、表中に含まない。

第14表 建物分類別・月別火災発生件数

区分	総計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	不明
総計	260	24	21	26	20	18	18	24	23	26	12	21	27	-
建物火災計	166	14	13	20	11	10	11	16	11	16	11	17	16	-
住宅火災														
住宅	43	6	5	5	2	3	2	3	2	4	2	3	6	-
併用住宅	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
共同住宅	43	4	4	3	5	2	3	6	3	3	5	2	3	-
住宅火災計	87	10	9	8	7	5	5	9	5	7	8	5	9	-
劇場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公会堂	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
キャバレー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
遊技場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
性風俗店	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
料理店	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
飲食	9	-	-	1	1	-	1	2	-	1	-	2	1	-
物品販売店舗	2	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
旅館	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-
病院	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
社会福祉施設	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
幼稚園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学校	4	-	-	-	-	2	-	-	1	1	-	-	-	-
図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特殊浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公衆浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
停車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神社・寺院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
工場	7	-	-	-	-	-	1	-	2	2	-	2	-	-
スタジオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
駐車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
航空機格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
倉庫	12	-	-	3	-	-	-	1	2	1	1	3	1	-
事務所	3	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
複合用途（特定）	14	-	2	1	1	-	1	2	-	1	1	4	1	-
複合用途（非特定）	10	2	2	3	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-
地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
準地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
文化財	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	12	1	-	2	1	3	-	1	-	2	-	1	1	-
林野火災	4	1	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
車両火災計	27	-	1	1	2	3	2	3	5	5	1	-	4	-
自動車	27	-	1	1	2	3	2	3	5	5	1	-	4	-
鉄道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
船舶火災	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
航空機火災	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の火災	63	9	7	5	6	4	4	5	7	5	-	4	7	-

(備考) 火元が建物ではない建物火災の値は用途分類されないため、表中に含まない。

第 15 表 管轄署所別火災発生状況

管轄署所		火災件数 (件)	死者数 (人)	負傷者数 (人)
中消防署	中消防署	25	0	7
	白島出張所	7	0	0
	基町出張所	3	0	1
	江波出張所	6	0	1
中消防署計		41	0	9
東消防署	東消防署	11	1	1
	福田出張所	3	0	0
	温品出張所	4	0	0
	戸坂出張所	5	0	1
東消防署計		23	1	2
南消防署	南消防署	9	0	1
	水上出張所	4	0	0
	青崎出張所	2	0	1
	東本浦出張所	2	0	0
	宇品出張所	3	0	0
	日字那出張所	1	0	0
	似島出張所	0	0	0
南消防署計		21	0	2
西消防署	西消防署	14	0	3
	三篠出張所	8	0	1
	己斐出張所	3	1	0
	庚午出張所	6	0	0
	井口出張所	10	3	7
西消防署計		41	4	11
安佐南消防署	安佐南消防署	5	0	1
	上安出張所	10	0	1
	祇園出張所	10	2	0
	沼田出張所	10	1	0
安佐南消防署計		35	3	2
安佐北消防署	安佐北消防署	6	1	1
	白木出張所	7	0	1
	高陽出張所	18	1	2
	可部出張所	2	1	2
	安佐出張所	8	1	1
	安芸太田出張所	4	0	0
安佐北消防署計		45	4	7
安芸消防署	安芸消防署	7	0	0
	瀬野川出張所	10	1	2
	矢野出張所	2	0	0
	熊野出張所	8	0	1
	坂出張所	2	0	0
安芸消防署計		29	1	3
佐伯消防署	佐伯消防署	7	2	0
	湯来出張所	2	0	1
	石内出張所	5	0	0
	八幡出張所	4	0	0
	海老園出張所	7	0	10
佐伯消防署計		25	2	11
総計		260	15	47

付属資料 昭和23年以降の火災発生状況

年 別	出 火 件 数						焼 損 面 積			損害額(千円) ( )は建物損害	物 価 指 数	死 傷 者		焼 損 棟 数	り 災		世 帯 数 ( )は人口	備 考
	総件数	建 物	林 野	車 両	船 舶	航空機	その他	床面積㎡	表面積㎡			林野a	死者		傷者	世帯		
昭和23年	99	97	2	0	0	0	17,929	…	…	170,074 ( … )	11.6	…	29	…	…	…	61,361 ( 246,134)	昭和23年1月1日からの統計
昭和24年	114	110	2	1	1	0	23,219	…	…	292,947 ( 89,645)	15.3	…	93	…	…	…	67,549 ( 270,863)	
昭和25年	166	126	6	3	0	31	20,006	…	…	132,364 ( 25,039)	14.2	2	50	…	…	…	73,006 ( 288,003)	
昭和26年	144	133	1	5	3	2	24,651	…	…	179,421 ( 177,282)	16.6	1	39	…	…	…	76,531 ( 302,372)	
昭和27年	105	75	3	6	1	20	9,064	…	139	102,576 ( 101,463)	17.4	1	31	…	…	…	78,531 ( 321,973)	
昭和28年	182	135	3	17	2	25	13,441	…	404	98,963 ( 97,900)	18.6	…	…	…	…	…	86,215 ( 345,219)	
昭和29年	282	236	3	18	1	24	4,278	…	30	51,833 ( 50,697)	19.8	…	…	…	…	…	91,924 ( 361,367)	
昭和30年	330	262	17	30	0	21	16,025	…	644	125,056 ( 124,692)	19.5	…	…	…	…	…	96,897 ( 374,793)	4.1戸坂村編入
昭和31年	366	302	7	28	3	26	13,754	…	44	169,251 ( 167,201)	19.6	0	32	…	…	…	101,255 ( 388,347)	4.1中山村編入 11.1井口村編入
昭和32年	352	289	19	15	3	26	10,666	…	1,234	133,715 ( 130,230)	20.2	1	29	…	…	…	107,102 ( 403,402)	
昭和33年	367	304	17	24	1	21	7,106	…	86	68,599 ( 67,674)	20.1	4	36	…	…	…	113,580 ( 419,573)	
昭和34年	308	236	20	33	2	17	6,721	…	92	82,140 ( 81,455)	20.3	4	32	299	279	…	119,636 ( 433,528)	
昭和35年	351	274	21	27	5	24	10,243	…	743	101,247 ( 100,380)	21.1	7	43	367	359	1,314	125,080 ( 445,727)	
昭和36年	306	242	15	29	3	17	11,776	…	650	108,918 ( 107,908)	22.2	3	19	379	301	1,059	131,961 ( 462,703)	
昭和37年	306	229	24	42	5	6	10,946	…	301	158,330 ( 156,165)	23.7	3	18	323	221	826	139,840 ( 480,576)	
昭和38年	317	225	25	48	5	14	10,231	…	309	129,580 ( 126,555)	25.6	4	26	409	298	994	147,079 ( 494,079)	
昭和39年	333	244	24	40	4	21	11,060	…	158	198,666 ( 197,003)	26.5	3	30	330	223	745	155,944 ( 511,611)	
昭和40年	337	234	42	39	5	17	14,670	…	3,532	254,060 ( 251,748)	28.3	14	55	520	296	982	163,039 ( 524,558)	
昭和41年	277	205	17	39	3	13	17,546	…	116	310,812 ( 309,283)	29.8	2	57	402	256	820	169,188 ( 532,676)	

※(1)出火件数等は昭和36年までは消防年報、37年以降は各年の火災原因損害統計による。(2)世帯数・人口は安芸区を除いたもので、消防年報による。(3)物価指数は消費者物価指数(全国値)で昭和60年を100としたもの。(4)…は不詳を表す。

年 別	出 火 件 数							焼 損 面 積			損害額(千円) ( )は建物損害	物 価 指 数	死 傷 者		焼 損 棟 数	り 災		世 帯 数 ( )は人口	備 考
	総件数	建 物	林 野	車 両	船 舶	航空機	その他	床面積㎡	表面積㎡	林野a			死者	傷者		世帯	人員		
昭和42年	350	232	45	45	4	24	12,417	…	10,088	200,117 ( 195,741)	30.9	9	63	440	404	1,154	175,985 ( 543,079)		
昭和43年	314	236	26	33	3	16	8,640	…	260	164,482 ( 163,255)	32.6	9	40	373	192	617	183,835 ( 551,259)		
昭和44年	308	225	17	39	4	0	23	7,283	…	1,086	279,731 ( 264,302)	34.3	2	37	326	200	646	188,006 ( 556,791)	
昭和45年	324	218	47	33	0	0	26	10,245	…	3,973	274,432 ( 266,154)	36.9	5	31	403	421	1,213	191,393 ( 558,014)	
昭和46年	344	246	23	35	4	0	36	9,671	…	51	374,665 ( 367,597)	39.3	5	32	356	405	1,140	201,409 ( 574,924)	4.1沼田町編入 5.20安佐町編入
昭和47年	317	232	27	17	3	0	38	7,419	…	114	283,432 ( 272,335)	41.2	3	53	321	311	976	240,841 ( 672,845)	4.1可部町編入 8.27祇園町編入
昭和48年	372	241	37	25	0	0	69	10,055	…	7,037	352,123 ( 348,176)	46.0	6	39	322	275	849	268,723 ( 740,340)	3.20安古市町・高陽町・佐東町・瀬野川町編入 10.22白木町編入
昭和49年	428	260	42	26	1	0	99	6,546	…	3,036	339,179 ( 332,374)	56.7	11	60	315	269	801	281,032 ( 772,226)	11.1熊野跡村・安芸町編入
昭和50年	409	262	29	21	1	0	96	11,676	…	3,620	670,199 ( 651,402)	63.3	13	33	353	322	988	285,864 ( 783,497)	3.20矢野町・船越町編入
昭和51年	394	254	22	23	2	0	93	11,220	…	407	1,201,501 ( 1,176,121)	69.3	7	68	362	373	1,032	288,003 ( 791,637)	
昭和52年	505	286	46	28	2	0	143	6,633	…	1,547	923,628 ( 912,894)	74.9	12	59	397	290	870	290,984 ( 800,227)	
昭和53年	584	304	54	21	4	0	201	8,948	…	2,339	681,287 ( 607,118)	78.1	14	68	440	363	1,115	294,038 ( 807,008)	
昭和54年	539	305	42	44	1	0	147	10,441	…	643	831,359 ( 814,933)	81.0	12	62	491	379	1,073	297,943 ( 815,556)	
昭和55年	484	281	25	46	2	0	130	6,160	…	128	540,544 ( 532,599)	87.3	13	56	393	347	980	304,209 ( 826,919)	4.1区政施行
昭和56年	463	270	34	27	0	0	132	5,646	…	52	544,767 ( 532,442)	91.5	12	49	354	286	756	309,500 ( 837,636)	
昭和57年	522	258	60	42	7	0	155	4,984	…	224	501,261 ( 494,133)	94.1	13	55	339	282	753	313,607 ( 845,470)	
昭和58年	445	260	24	39	1	0	121	8,844	…	162	799,768 ( 773,134)	95.8	10	52	400	319	854	318,699 ( 854,200)	
昭和59年	467	271	19	32	2	0	143	6,701	…	326	526,562 ( 520,179)	98.0	6	63	390	323	863	323,576 ( 863,000)	
昭和60年	473	292	42	32	0	0	107	9,508	…	319	1,117,544 ( 1,109,240)	100.0	10	65	455	386	1,112	360,891 ( 969,969)	3.20五日市町編入(佐伯区となる)

※(1)出火件数等は昭和36年までは消防年報、37年以降は各年の火災原因損害統計による。(2)世帯数・人口は12月末現在の安芸区分を除いたもので、各年の消防年報による。

(3)昭和44年火災報告取扱要領の改正に伴い航空機火災を其他火災から分離。(4)物価指数は消費者物価指数(全国値)で昭和60年を100としたもの。

年 別	出 火 件 数								焼 損 面 積			損害額(千円) ( )は建物損害	物 価 指 数	死 傷 者		焼 損 棟 数	り 災		世 帯 数 ( )は人口	備 考
	総件数	建 物	林 野	車 両		船 舶	航空機	その他	床面積㎡	表面積㎡	林野a			死者	傷者		世帯	人員		
				自動車	鉄道															
昭和61年	595	349	40	48	1	4	0	157	7,888		2,416	646,871 ( 589,162)	100.6	23	61	490	369	1,095	367,079 ( 980,640)	
昭和62年	532	323	32	37	0	3	0	140	6,163		234	529,768 ( 523,034)	100.7	17	55	449	345	972	372,653 ( 989,790)	
昭和63年	587	336	34	54	0	4	0	163	10,571		106	1,173,725 ( 1,159,445)	101.4	13	68	479	391	1,048	378,173 ( 997,212)	
平成元年	556	316	39	49	2	0	0	150	5,282		145	631,862 ( 554,749)	103.7	12	57	435	326	890	383,998 ( 1,003,896)	
平成2年	610	323	22	80	...	3	0	182	5,483	...	157	720,430 ( 684,499)	106.9	15	71	453	371	1,026	390,290 ( 1,010,438)	
平成3年	593	327	32	71	...	2	0	161	7,130	...	1,030	947,503 ( 920,172)	95.1	9	65	463	335	900	390,645 ( 1,001,851)	
平成4年	539	305	25	54	...	5	0	150	5,232	...	181	913,479 ( 849,311)	96.7	6	35	416	252	745	395,225 ( 1,010,462)	
平成5年	528	313	27	51	...	2	0	135	4,853	...	279	623,084 ( 590,237)	98.0	6	65	445	346	891	407,762 ( 1,024,280)	
平成6年	638	302	49	49	...	2	0	236	5,846	...	819	928,275 ( 859,004)	98.6	15	90	431	373	975	405,381 ( 1,018,728)	
平成7年	562	299	32	64	0	2	0	165	6,721	1,786	126	854,102 ( 824,496)	98.5	8	46	368	250	666	410,464 ( 1,022,755)	
平成8年	557	316	20	52	0	2	0	167	4,114	2,334	31	709,429 ( 682,033)	98.6	10	79	383	359	903	422,282 ( 1,035,527)	
平成9年	579	332	22	61	0	1	0	163	5,756	1,312	59	770,261 ( 747,335)	100.4	16	70	409	292	752	421,506 ( 1,027,012)	
平成10年	509	306	17	55	0	1	0	130	4,769	1,975	41	542,545 ( 502,450)	101.0	9	67	369	257	650	432,484 ( 1,044,795)	
平成11年	571	337	19	67	1	0	0	147	5,500	1,478	126	651,063 ( 261,088)	100.7	17	63	423	326	841	437,070 ( 1,047,868)	
平成12年	516	300	27	62	0	0	0	125	5,860	2,363	25	687,153 ( 645,238)	100.0	8	78	384	295	742	441,339 ( 1,051,817)	
平成13年	600	334	22	71	0	3	0	170	11,956	4,188	59	1,663,184 ( 1,641,657)	99.1	15	65	467	347	891	437,070 ( 1,047,868)	
平成14年	575	320	29	65	0	1	0	160	3,945	2,130	98	455,921 ( 438,184)	98.5	9	90	401	277	646	450,849 (1,060,049)	
平成15年	444	275	15	46	0	0	0	108	4,377	2,395	76	719,393 ( 707,944)	98.1	15	71	361	276	645	455,586 (1,063,810)	
平成16年	434	239	23	55	0	1	0	116	12,288	8,719	64	4,092,925 (4,078,224)	97.8	8	70	301	280	586	442,070 (1,069,118)	

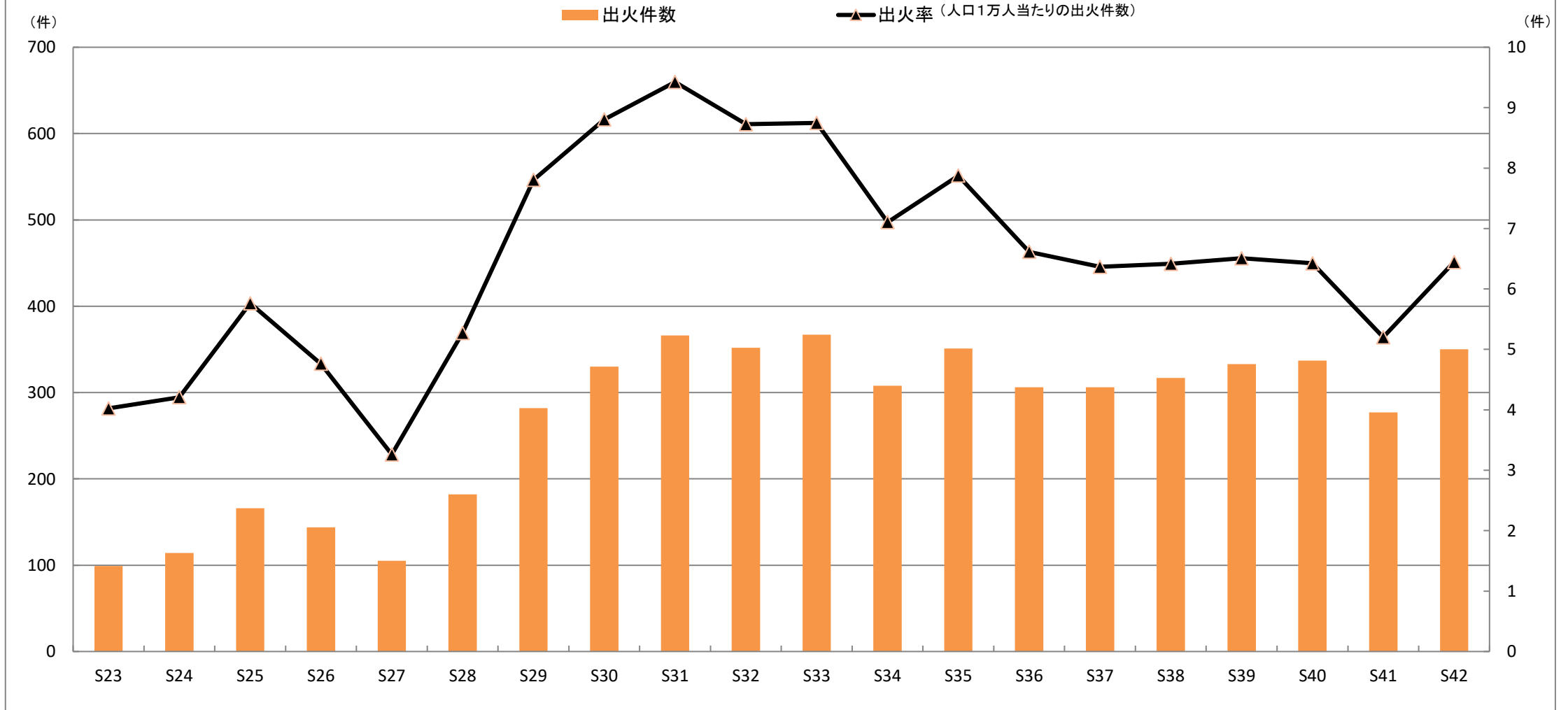
※(1)出火件数等は昭和36年までは消防年報、37年以降は各年の火災原因損害統計による。(2)世帯数・人口は12月末現在の住民基本台帳登録人口及び外国人登録人口で安芸区及び佐伯区のうち湯来地区を除いたもの。(3)昭和44年火災報告取扱要領の改正に伴い航空機火災をその他火災から分離。(4)平成17年以降の物価指数は消費者物価指数(全国値)で平成17年を100としたもの。(5)年ごとに基準みなおし)

年 別	出 火 件 数							焼 損 面 積			損害額(千円) ( )は建物損害	死 傷 者		焼 損 棟 数	り 災		世 帯 数 ( )は人口	備 考	
	総件数	建 物	林 野	車 両		船 舶	航空機	その他	床面積㎡	表面積㎡		林野a	死者		傷者	世帯			人員
				自動車	鉄道														
平成17年	474	275	9	68	0	2	0	120	5,472	1,890	52	547,285 (525,461)	19	83	397	305	736	466,611 (1,072,712)	
平成18年	452	296	2	42	0	0	0	112	7,125	2,253	722	1,010,625 (1,001,037)	19	90	379	348	824	472,693 (1,075,804)	
平成19年	543	325	15	47	0	1	0	155	8,451	5,029	33	817,571 (789,498)	14	84	446	356	805	550,495 (1,246,047)	平成19年4月から広島市佐伯区湯来町、広島市安芸区、海田町、坂町、熊野町、安芸太田町、廿日市吉和地区が管轄区域となる。
平成20年	548	323	22	40	0	0	0	163	5,654	2,947	293	1,015,807 (993,060)	16	96	410	307	774	550,981 (1,247,084)	
平成21年	506	260	16	46	0	1	0	183	8,326	2,389	28	814,173 (771,691)	13	65	358	331	686	551,333 (1,244,640)	
平成22年	514	249	21	55	0	0	0	189	5,545	1,280	31	600,332 (543,983)	12	62	318	260	572	559,472 (1,251,557)	
平成23年	479	260	23	33	0	0	0	163	5,804	1,372	61	516,273 (510,522)	11	55	340	271	601	559,531 (1,251,368)	
平成24年	395	215	16	40	0	2	0	122	3,953	1,057	17	493,964 (468,962)	12	60	279	243	537	563,671 (1,253,733)	
平成25年	420	249	12	37	0	0	0	122	7,311	876	37	789,831 (777,333)	9	50	325	218	461	567,736 (1,257,629)	
平成26年	378	229	8	37	1	1	0	102	5,700	991	86	635,924 (614,265)	30	65	319	256	551	573,267 (1,260,790)	
平成27年	305	198	5	19	0	0	0	83	5,188	1,747	9	448,839 (440,703)	20	64	242	195	411	577,756 (1,262,631)	
平成28年	299	187	5	33	0	1	0	73	3,358	570	45	490,488 (211,058)	5	54	229	153	350	583,775 (1,265,234)	
平成29年	316	204	4	20	0	0	0	88	4,082	1,060	14	474,180 (284,469)	8	60	277	219	462	588,982 (1,267,410)	
平成30年	260	161	6	20	0	1	0	72	4,068	1,239	399	539,614 (206,780)	10	49	225	217	438	593,572 (1,267,935)	
令和元年	277	168	3	25	0	0	0	81	3,690	1,031	56	361,434 (352,052)	9	40	233	172	360	598,909 (1,268,332)	
令和2年	229	145	5	16	0	0	0	63	3,727	596	11	270,035 (258,382)	5	51	188	150	313	603,992 (1,267,846)	
令和3年	247	154	6	27	0	1	0	59	6,293	2,102	39	802,773 (778,936)	15	39	254	190	376	608,750 (1,266,065)	
令和4年	257	160	4	19	0	2	0	72	13,319	724	10	5,642,980 (3,838,167)	9	45	229	143	278	609,976 (1,259,535)	
令和5年	249	160	2	19	0	0	0	68	4,810	1,301	5	546,052 (535,460)	12	49	212	169	304	593,602 (1,246,161)	
令和6年	260	166	4	27	0	0	0	63	3,173	878	34	312,260 (304,303)	15	47	240	160	325	618,520 (1,246,263)	

※(1)世帯数・人口は各年の翌年1月1日時点ものである。



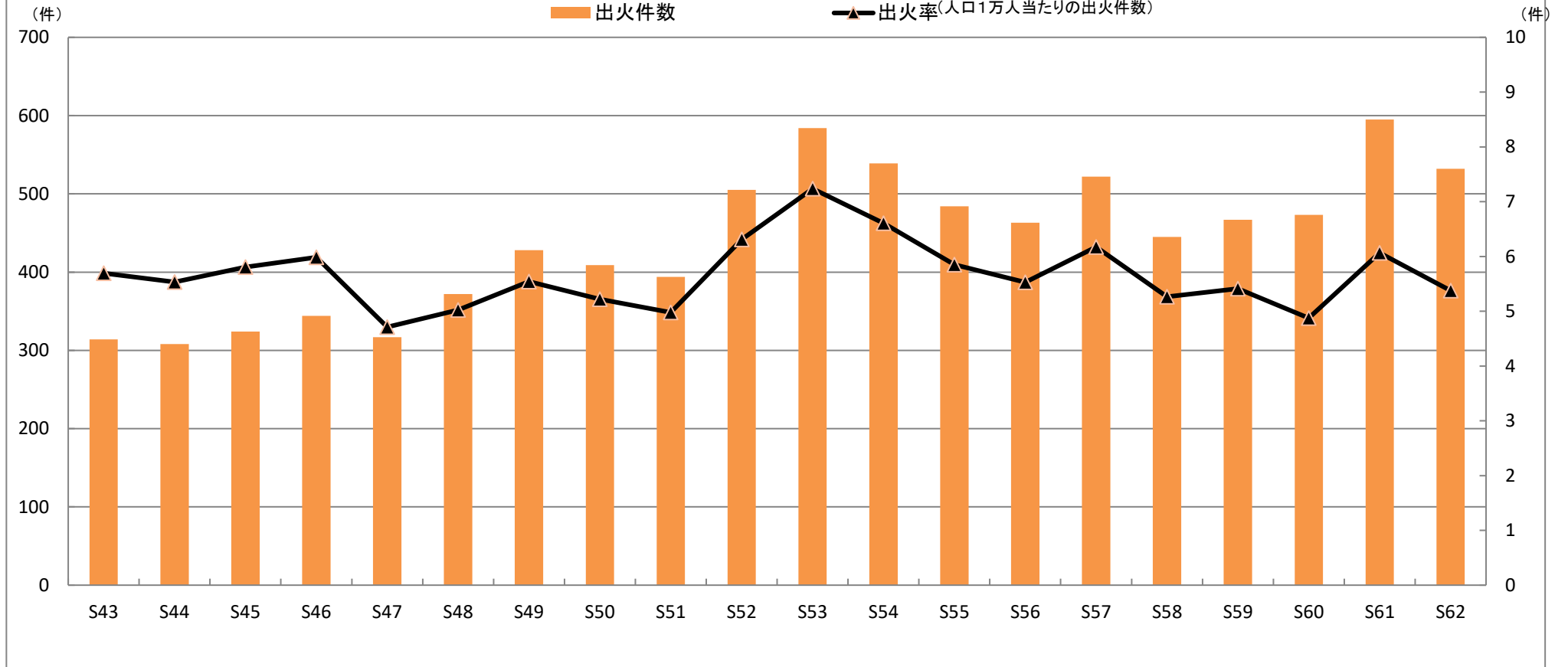
# 火災の推移状況



	S23	S24	S25	S26	S27	S28	S29	S30	S31	S32	S33	S34	S35	S36	S37	S38	S39	S40	S41	S42
出火件数	99	114	166	144	105	182	282	330	366	352	367	308	351	306	306	317	333	337	277	350
人口	246,134	270,863	288,003	302,372	321,973	345,219	361,367	374,793	388,347	403,402	419,573	433,528	445,727	462,703	480,576	494,079	511,611	524,558	532,676	543,079
出火率	4.02	4.21	5.76	4.76	3.26	5.27	7.80	8.80	9.42	8.73	8.75	7.10	7.87	6.61	6.37	6.42	6.51	6.42	5.20	6.44

※ 出火件数、人口ともに安芸区を除く。

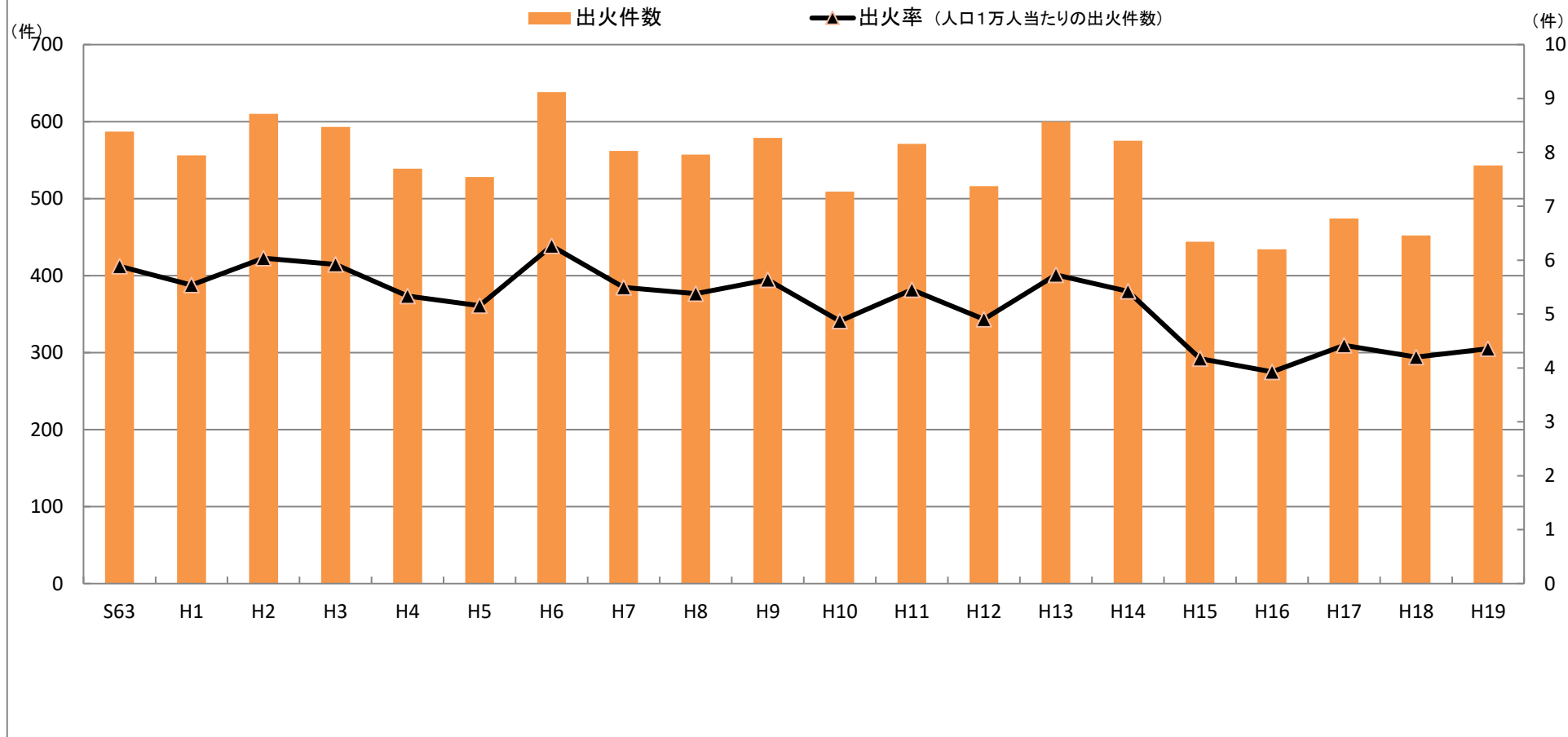
# 火災の推移状況



	S43	S44	S45	S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62
出火件数	314	308	324	344	317	372	428	409	394	505	584	539	484	463	522	445	467	473	595	532
人口	551,259	556,791	558,014	574,924	672,845	740,340	772,226	783,497	791,637	800,227	807,008	815,556	826,919	837,636	845,470	845,200	863,000	969,969	980,640	989,790
出火率	5.70	5.53	5.81	5.98	4.71	5.02	5.54	5.22	4.98	6.31	7.24	6.61	5.85	5.53	6.17	5.27	5.41	4.88	6.07	5.37

※ 出火件数、人口ともに安芸区を除く。

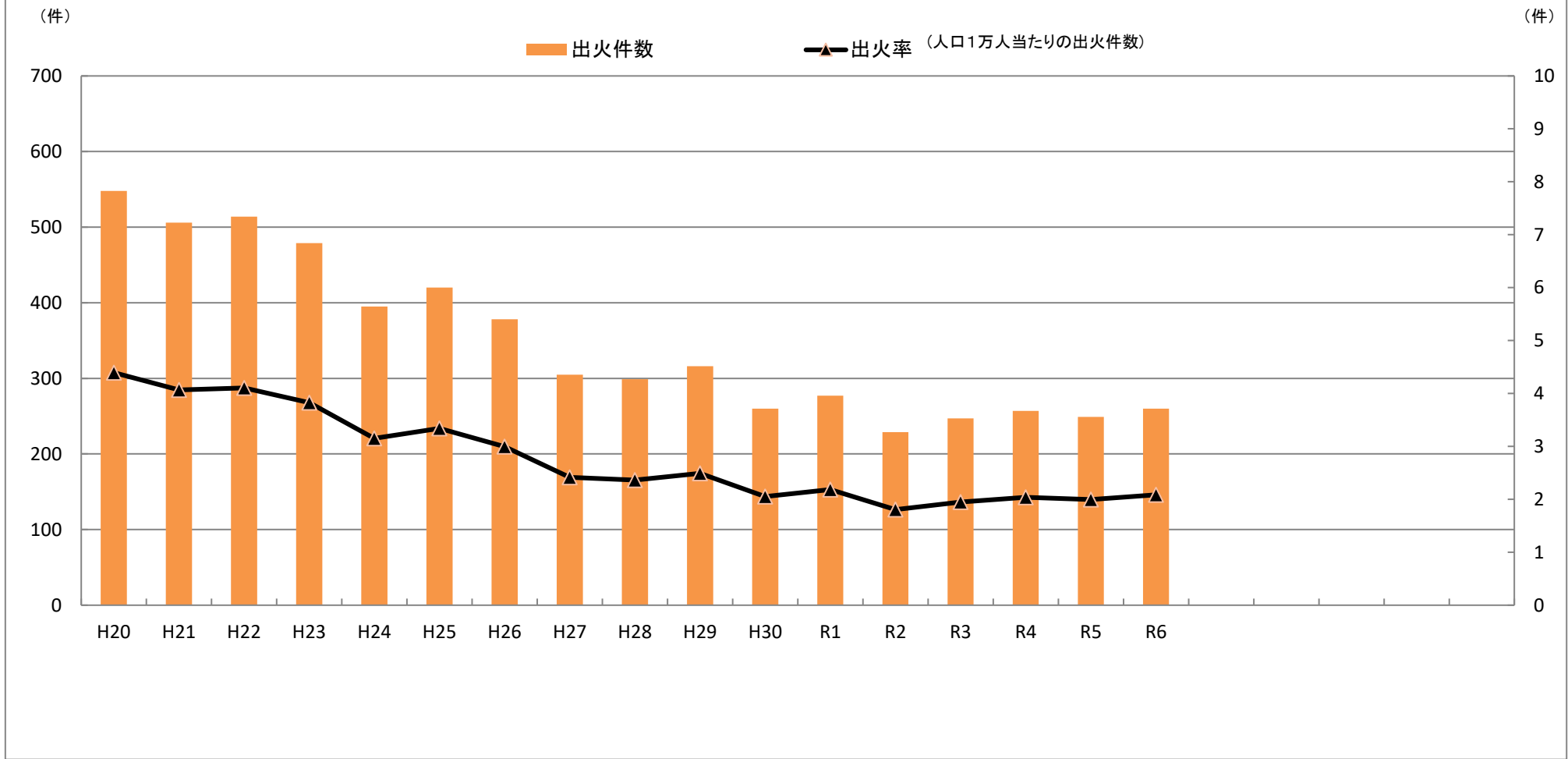
# 火災の推移状況



	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
出火件数	587	556	610	593	539	528	638	562	557	579	509	571	516	600	575	444	434	474	452	543
人口	997,212	1,003,896	1,010,438	1,001,850	1,010,462	1,024,280	1,018,728	1,022,750	1,035,527	1,027,012	1,044,795	1,047,868	1,051,817	1,047,868	1,060,049	1,063,810	1,069,118	1,072,712	1,075,804	1,246,047
出火率	5.89	5.54	6.04	5.92	5.33	5.15	6.26	5.49	5.38	5.64	4.87	5.45	4.91	5.73	5.42	4.17	3.93	4.42	4.20	4.36

平成19年以降は、安芸区、佐伯区湯来町、海田町、坂町、熊野町、安芸太田町、廿日市市吉和を含む。

# 火災の推移状況



	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
出火件数	548	506	514	479	395	420	378	305	299	316	260	277	229	247	257	249	260
人口	1,247,084	1,244,640	1,251,557	1,251,368	1,253,733	1,257,629	1,260,790	1,262,631	1,265,234	1,267,410	1,267,935	1,268,332	1,267,846	1,266,065	1,259,535	1,246,161	1,246,263
出火率	4.39	4.07	4.11	3.83	3.15	3.34	3.00	2.42	2.36	2.49	2.05	2.18	1.81	1.95	2.04	2.00	2.09

平成19年以降は、安芸区、佐伯区湯来町、海田町、坂町、熊野町、安芸太田町、廿日市市吉和を含む。

登録番号	広 Y 2 - 2 0 2 5 - 4 3 5
名 称	令和6年(2024年) 広島市消防局火災統計
編集・発行者	広島市消防局予防部予防課調査係 広島市中区大手町五丁目20番12号 (〒730-0051) TEL (082) 546-3453 内線71-415・416・417 FAX (082) 249-1160
発行年月	令和 7年 10月